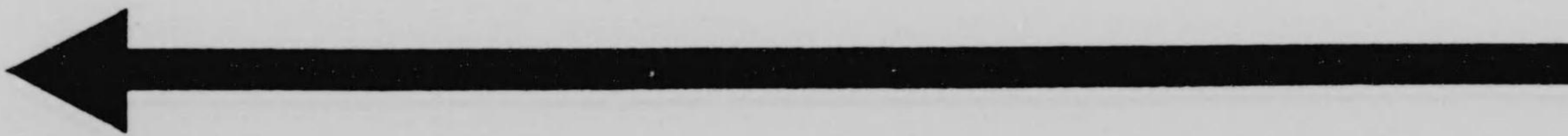




386
117



始



386-117



確に
儲る

新利

殖
の
研
究

樋口
麗陽
著



大正

8. 8. 14

内交

卷頭に

- 一、本書は毎月百圓以下の定収入者及毎月百圓以下の不定的一般少収入者を標準としたものであります。
- 一、然し、其れ以上の収入者にも應用し得らるゝことは勿論であります。
- 一、著者は本書の内容に就ては責任を以て讀者の質問に應答します。
- 一、但し質問者は返信料を添へらるゝこと特に調査を要する事項に對しては調査上の實費を負擔せらるゝことを條件とします。
- 一、右の條件に反したる質問に對しいは一切回答をしません。

以上

大正八年三月

樋口麗陽識

定収入者利殖法

目次

一 金力萬能の世の中……………	一
一に金、二に金、三に金……………	一
我々は木像ではない……………	五
二 金力は萬事を支配す……………	九
先づ世間の事實を見よ……………	九
衣食住を保障するものは果して何か？……………	三
人は何を得んとして働いて居るか？……………	七

三 生存競争と金力……………

一〇

何と云つても生存競争の世の中……………

二〇

此實社會の實證據を見よ……………

三三

無財産者の憫むべき境遇を見よ……………

三三

金力者の豪奢贅澤振りを見よ……………

三五

假りに諸君が金力者であつたら如何……………

二六

金が有れば馬鹿でも紳士……………

三〇

生活難も生活樂も金次第……………

三三

四 先づ金を尊重せよ……………

三三

現在の生きた事實の結論は何か？……………

三四

金錢を輕んずる者は一生弱者で成貧……………

四〇

五 少收入者と利殖……………

四三

少收入者の利殖は果して不可能か？……………

四三

遣り方一つで容易に出来る……………

四四

思ふ丈では財産は出来ぬ……………

四四

要は只投資の方法如何に在り……………

四七

諸君の着眼が間違つて居る……………

四九

六 少收入者の利殖と利殖物……………

五二

利殖は生殖作用に同じ……………

五二

少收入者の放資利殖に適する物件……………

六〇

五圓十圓の資本でも収益二十割三十割……………

六六

七 本書に説述する利殖法……………

六九

4 断じて投機的方法に非ず.....七〇

八 資金の程度.....七一

資金は何程あればよいか.....七一

五圓でも十圓でも百圓でも何程でもよい.....七一

九 二種の株券利殖法.....七七

投機的利殖と非投機的利殖.....七七

一〇 投機的利殖と非投機的利殖の優劣.....七八

一一 少收入者株券利殖の容易なる方法.....八八

一二 團體利殖法.....九二

一三 利殖團體組織の方法.....九六

一四 團體利殖の有利.....一〇三

一五 團體利殖の有利なる證據.....一〇八

一六 資金調達の方法.....一一四

第一方法.....一一六

第二方法.....一二〇

第三方法.....一二三

第四方法.....一二五

一七 少くとも十年計畫.....一二七

一八 多大の信用と莫大なる利益.....一三七

一九 株券選擇の方法.....一四一

6

事業状態に注意せよ.....	一六二
経営状態に注意せよ.....	一六五
重役の人物に注意せよ.....	一六六
財産状態に注意せよ.....	一六七
市場の人気に注意せよ.....	一八五
公平なる判断法.....	一八七
二〇 株券買入の有利なる方法.....	一八九
十株以下を買入れる場合.....	一八九
十株以上を買入れる場合.....	一九三
二一 更に一步を進めた利殖法.....	一九五
二二 新株應募専門利殖法.....	一九九

7

二三 新株應募専門利殖法の實際的方法.....	二二三
二四 新株應募専門利殖の利益.....	二二九
年に三十割乃至百割.....	二二九
六年目には六萬圓の資産家.....	二三三
十二年間の純利益二十萬圓.....	二三八
二五 新株利殖上の注意.....	二三三
會社の實質を吟味せよ.....	二三三
事業の性質に注意せよ.....	二三五
發起人と賛成人に注意せよ.....	二三六
關係銀行等に注意せよ.....	二四三
市場人氣の傾向に注意せよ.....	二四五

資本金額に注意せよ……………二五〇

募集株數に注意せよ……………二五五

是れが根本的の先決問題……………二五八

二六 團體組織の分割利殖法……………二五九

二七 分割利殖の有利なる點……………二六五

二八 團體利殖と株券の割當分配法……………二六六

二九 原則としては株主目的の投資……………二七三

三〇 少收入者へ警告……………二七七

要するに努力と手段方法のみ……………二七七

努力と苦心と困難……………二八二

現在富者資本家の苦心と努力……………二八五

錢厘の微を輕視する勿れ……………二八七

羨望と目標と比較……………二八八

以上

定收入者利殖法目次完

定収入者利殖法

樋口麗陽 著



金力萬能の世の中

一に金、二に金、三に金

定収入者及其他少收者諸君！

今や世の中は金力の世の中であり、一に金、二に金、三に金、四にも五にも金の世の中であり、資本次第金次第の世界であります。軍國主義者が如何に大砲や軍艦や飛行機飛行船其他新發明の武器を捻繰廻して軍國主義を鼓吹しましても、民主主義者

金力萬能の世の中

が如何に個人の權利と自由を一枚看板に押立て吹櫃のやうに鼻息を荒くして民主主義の宣傳實行を叫びましても、又帝國主義者が帝國主義を絶叫し國家主義者が國家主義を絶叫し個人主義者が個人主義を振り廻し、道學先生が如何程口を酸ばくして倫理道徳を説き忠孝仁義を鼓吹奨勵しましても、又如何に宗教家諸君が釋迦を説き基督を擔ぎ出し慈悲善根や博愛同情の押賣をして南無阿彌陀佛やアーメンの連續射撃を遣らかしましても、所詮世の中は黄金の世の中であり、金力の世の中であり、資本萬能の世の中であることは動かすことの出来ない事實であります。

成程今日の如に國際關係が複雑面倒で結局は武力で解決する外國的紛議葛藤に對する猶以上有効有力なる解決法なく裁判法のない世の中に於きましては、平生より軍艦や大砲や飛行機や兵隊を澤山拵へて置いてイザ戦争となり喧嘩となつた場合勝つ放しで敗けることのないやうに用意することが必要肝腎だと云ふ軍國主義者の謂ふ所も

確かに必要な事であり肝腎な事に相違ないでせう。又個人の權利と自由とを主張し民衆の意思によつて政治を行はう外交をしよう經濟組織を改善しよう云ふ民主主義の主張絶叫する所も、文明とは云ひながら經濟的社會組織の不完全な今日に於ては適當な主張絶叫であり必要緊密な事であり結構此上もない事に相違ありません。又社會國家が存在し其存在が人類の生存生活上に必要である以上社會主義も國家主義も帝國主義も御道理千萬と云ふの外ない事なのでせう。況んや忠孝仁義慈悲憐愍博愛同情に於てをやであります。然しながら、諸君熟く物を考へて御覽なさい。如何に軍國主義が必要であると云ひましても軍艦や大砲や飛行機は天から降る物でもなければ自然に地から湧くものでもなく無代償で出来るものではありません。假令どんな軍艦にしましても苟も軍艦と名の附くものである以上、木造にせよ古鐵を利用したものにせよ、何百萬圓乃至何千萬圓の製艦費を要します。大砲にしても飛行機にしましても外國のもの

に劣ない様なものを拵ようとするには一門一機を拵るにも數千數萬乃至數十萬圓を投じなければならぬのであります。又兵隊を養成するにも蚯蚓の様に泥を喰せ水を飲ませて置く譯には参りませぬ。一人一日數圓乃至數十圓の費用を要するのであります。民主主義を實施實行するにしましても、金と云ふ問題を除外しては畢竟無意味であります。個人の権利とか自由とか民衆の意見による政治外交と云へば金とか資本とかは問題でないやうでありますが、民主主義の政治を行ふにしましても金が無くては二進も三進も動きがとれません。社會の經濟組織を個人の権利と自由とを基礎とした民主的經濟組織に變更改善するにしても結局の問題はパンの問題であり報酬の問題であり金の問題であり資本の問題であります。民主主義政治が如何に理想的政治であるにしましても、其れを主張唱道する其人自身から既に金無しでは主張も出来ない喧嘩も出来ないのみでなく、元來生きて居ることが出来ないではありませんか。我々は我々

の意思を尊重した政治が行はれると云ふことは歓迎もしませう謳歌するには吝な事も言ひますまい。然しながら食はず飲まずでは歓迎も出来ません、其日の生活に逐はれて居ては謳歌どころの話ではないのであります。先づ働いて金を得て一身一家の生存生活を安全に保障することが先決問題でありイの一番の問題であります

我々は木像ではない

帝國主義、國家主義、個人主義、社會主義、其他何主義であり何主張であるにしましても我々は自己の生存生活と云ふことが先づ第一の問題であります。其れが完全に保障されて然る後の問題であります。忠孝仁義と云ひ慈悲憐愍と云ひ博愛同情と申しまして、我々は千松ではないのでありますから、腹が減つても空腹うないなど、瘦我慢をして居ることは出来ません。それも一日や二日の事なら我慢も爲ませう辛棒も出来ま

6
せうが、其れ以上食はず飲まずで居ることは到底絶対に不可能であります、残念ながら我々の胃袋は斷食して何とも感じない程に重寶に出来て居りません。一度でも一日でも食はずに居れば空腹を感じます、空腹を感じれば食はなければなりません、食ふには拳骨や石塊は食つて居れません、食物が要りますパンが必要であります、パンは路傍に落ちて居るものではありません。又天からも降るものでもなければ地から湧くものでもありません、代償たる金を拂つて購はなくては一品一物たりとも得ることが出来ないのであります。我々は木像とは違ひます、食はず飲まずでは忠孝仁義も出来ません。慈悲憐愍も博愛同情も空腹を抱へ眼球を凹ませては到底實行することが出来ないのです。親に孝行がしたくても金無しでは思ふ丈けの事で實行は出来ません。親に旅行がさせたいと思つても文無し空つければ旅行も出来ません。芝居が観せたい活動寫眞が観せたいと思ひましても無料で入場させる劇場や活動寫眞館は人間の經

7
營して居る劇場や活動寫眞館には一軒もありません。美しい着物が着せたい美味い物を食べさせたいと思ひましても金無しでは一寸の布片も得られません、料理一品も得ることが出来ません。得るには得る丈けのものがなくてはなりません、然らば其の得る丈けのものとは何であるか、曰く代償であります、即ち金であります。慈悲憐愍博愛同情も同様であります、慈善を爲たい人に物を施したいと思ひましても常に囊中無一物では慈善も施しも出来るものではありません。博愛同情と云ふものは必ずしも物質的施與供給を意味するものではない精神的に博く愛し精神的に何人にも同情すれば即ち博愛であり同情であると言く人もありますが愛する方同情する方から云へば其れで宜いかも知れませんが、愛される方同情される側から云へば物質上の施與供給を伴はない博愛同情は餘り有難いものではありません。生活に困つて食う物も食はず饑餓に瀕して居る人に對つて私は貴君を愛します貴君の心中境遇に満腔の同情を表しますと

云つて見た所で其人の胃袋は膨脹しません、空腹を満腹と感ずることはないのであります。千萬言を費して博愛同情を云々するよりも黙つて一片の食物を與へた方が嬉し
いと思ひ有難いと感じます。事業を遣りたいが資本がなくて困つて居る人には百萬言
の口先ばかりの同情よりも點つて資本を貸して呉れる人の方が遙かに同情家であり、
食うに困つて居る人には精神上の愛よりも同情よりも食物の一片を與へ惠んで呉れる
人の方が遙かに慈善家であり同情者であります。

斯くの如く世の中は一切萬事金の世の中であります。事業を遣るにも金であり、衣
食住を保障するにも金であり、遊ぶにも働くにも金であり、寝ても起きても金であり、
立つても坐つても金を放れては一日も生きて居ることの出来ない金力萬能の世の中
あり戀も愛も美人も地位も名譽も結局する所金の有無如何によつて決せらるゝ物質主
義現金主義の世の中であります。

二 金力は萬事を支配す

先づ世間の事實を見よ

其生活に於ても其心事行動に於ても野獸と相距ること殆んど一步の差であつた原始
時代や個人と社會の經濟關係が單純單調であつた時代に於ては、金力が偉大なる勢力
を振ひ一身一家を支配し國家社會を支配左右すると云ふことは無かつたのであります
が、金力の社會的勢力は人類の進歩に伴ひて大となり、文明進歩の程度に正比例し
て遞増し、二十世紀の今日に於きましては、個人は勿論社會國家と雖も殆んど其の一
切切萬事萬端を支配して居ります。

誠に現在金力が如何に人生萬事を左右し支配して居るかを御覽なさい。國家とか
社會とかの廣汎複雑な組織體に於ては金力の如きは其一部分に權威あるのみで其萬事

金力は萬事を支配す

を支配するなどのことは無さうに思はれますが、實際は國家も社會も共に等しく金力に依つて左右せられ金力の爲めに支配せられ金力の權威の前には一も二もなく屈服しなければならぬ状態であります。即ち國家の政治も金との相談であります。國務大臣にも年々何萬圓と云ふ年俸を與へなければなりません。大臣次官以下の官吏に對しても夫れ／＼年俸なり月給なりを與へなければなりません。代議士にしましても年々數千圓の歳費を與へなければなりません、代議士と云つても御承知の通り一人や二人ではありません、殆んど四百人からの所謂國民の選良諸君がウヨつて居りまして國家は毎年之れが爲めに八拾萬圓に近い支出して居ります。若し夫れ國務大臣以下官吏の名の附く雜輩末社に至るまでの年俸月俸を合算したならば其金額は數千萬圓の巨額であります。而も是等多數の官吏によつて取扱はれる政治上の事務なるものも無一文で出來ないのは勿論少々の端た金では出來るものでありません。年々歳に政府が帝

國議會に提出し其協賛を経て支出する歳出即ち經常費、臨時費、豫備費などは政治を執行するに絶對必要な最低限度の金額であります。國務大臣にせよ其他の官吏にせよ乃至代議士にせよ、一文の年俸もなく月給も與へられず歳費も與へなければ、大臣になるものもなければ代議士になるものもないでせう、況んや屑々たる低級官吏に於てをやであります。偶には變り者が飛出して無報酬で大臣にならう官吏にならう代議士に志願するものがあるかも知れませんが、縦令大臣ばかり何百人有りましたも、官吏や代議士のみ何萬人出來ましたも、政治上の事務を執行し實際的施設をするに絶對必要なる金と云ふものがなくては、樹から落ちた猿水に離れた魚も同然何等の藝當も出來るものではありません。啻に政治を行ふことが不可能であるのみでなく、大臣たり官吏たり代議士たる其人自身が生活を保障するに足る金を有し財産を有して居ない限り乾物にならざるを得ないのであります。世界開關以來四千年、未だ曾て何處の果に

金力は萬事を支配す

も乾物になつた人間が政治を行つた事實は見た事も聞いた事もありません。何國の歴史を見ましても其歴史は一つも書いてなく、何人の著した世界史を繙きましても木伊乃が生きた人間同様に政治を行つた事實に關することは何の頁にも發見することが出來ないのであります。

會社にしましては無資本の會社と云ふものはありません。會社員にしましては無報酬で働く會社員はありません。家屋を建築するにもロハで出來る家屋は人間社會に取扱はれる材料を使用し人間の勞力を必要とする限り絶対にありません。土地にしましては無代價で得られる土地は世界廣しと雖も恐らく一寸一尺の土地もないでせう。無人の新領土などは政府で移住開墾者に限り年限を規定してロハで貸たり呉れたりすることもありますが、未開の蠻地を開墾するには無一文では出來ません。第一に渡航費が要ります。半年なり一年なり開墾地から生活資料を得るまでの衣食住費が要ります。

開墾も指先でホジくる譯には參りません、夫れ相當の器具が要り道具が必要であります。其旅費なり生活費なり道具費は何であるかと云へば即ち金であります。随つて何處に行つても全然ロハで得られる土地は寸地尺土と雖も無いと云ふ事に結局します。

衣食住の保障は果して何か

我々は野蠻人でないから跣足で歩くことは出來ません。靴なり下駄なり履物が要ります、履物も一足では足りません、勝手履も要ります、平常履も要ります、外出用の他所行履と云ふ風に幾足も必要であります。又熱帯地でないから裸體で居る譯には參りませぬ、即ち衣服が必要であります、衣服も襯衣一枚單衣一枚では濟みません、夏は單衣一枚でも濟みますが春秋は裕が要ります、襯衣が要ります、羽織が要ります、冬になつて寒くなれば綿入も必要であり、足袋、手袋、襟巻、外套、帽子と云ふやう

金力は萬事を支配す

なにも必要であり、雨や雪が降れば傘も必要であります、其んな物は何うして得るか、即ち代償たる金を拂つて購はなければ一品一物たりとも身に着けることは出来な
いではありませんか。餡麴が食ひたい、カステーラが食べたい、甘納豆を摘みたい、
西洋料理が食ひたい、酒が飲みたい、刺身が食ひたい、野菜が欲しい、魚肉獸肉が欲
しい、ラムネが飲みたい、サイダーが飲みたい、氷水が飲みたいと思ひましても口ハ
で得られるものは一つもないではありませんか。芝居が観たい、活動寫真が観たい、
落語が聞きたい講談が聴きたい、其他何を見たい聞き度いと思ひましても口ハで觀せ
て呉れる所もなければ無料で聞かせて呉れる處もないではありませんか。或は又海水
浴に行きたい、湯治に行きたい、旅行がしたいと思ひましても、口ハでは汽船も汽船
も乗せては呉れません。無銭では宿でも泊めては呉れません。裸體で道中もなり
ますまい。一寸電車に乗つても囊中空つけつであつたら直ちに車掌に摘み出され、文

句を言へば情け容赦もなく警察に突出されます。俥に乗つても自動車に乗つても賃錢
と云ふものを支拂はなくてはなりません。天然自然に湧いて居り流れて居る水でも
今日は無代では飲めません。都會に住んで水道の水を使用すれば水道使用料を取られ
ます。井戸の水にしても井戸を掘つたり浚へたりする費用がかかります。汲み上げる
機械なり器具なりが要ります、汲むには勞力を費し時間を費さなくてはなりません。
これは都會も田舎も同様であります。其れでは河の水は口ハで飲めるだらうと思つた
ら間違であります、第一汲んで来て飲むにしても河まで行く勞力
と時間とが必要であります。器具も必要であります。家に凝と坐つて居たり寢をべつ
て居ながら河の水を飲まうと思つても、水の方から何卒召し上つて下さいと流れて來
る水は世の中に一滴もありません。然し勞力と時間を費す丈けなら金は鏝一文も要
らないではないかと云ふ人があるかも知れませんが、お待ちなさい、勞力とは石塊や

金力は萬事を支配す

木の枝の謂ではありません、自分の身體を動かすことではありません、身體を動かし働かすれば精力の消耗となり、動いた丈働いた丈は精力が消えて無くなり、精力を消耗すれば之れを補充しなければなりません、處が精力の補充は石塊や木の葉では出来ません、即ち適當な食物が必要であります、而して其食物は無代では得られません、代價を拂はなければ一口半片でも得ることは出来ないであります。随つて河水を飲み泥溝の水を使用するにしましても、全然ロハでは出来ないと言ふ結論に到着するのであります。又學術技藝の研究をするにしましても、第一に衣食住費が必要であるのみではありません、参考書も要りませう、研究材料蒐集も必要でせう、機械器具の類も必要でありませう。然し其参考書も材料の蒐集も機械器具も代價が無くては得られません、篤志家が研究費を提供して呉れない限り自分で支辨しなければなりません。縦令篤志家が與へて呉れるにしましても研究費なるものは何で

あるかと云へば即ち金ではありませんか。

就學齡に達した子供を學校に通はせるにしましてもロハでは出来ません。義務教育とは云ひながら月謝が要ります、文房具費が要ります、其他種々雑多な費用が掛ります。元來教育なるものが金が有つての教育で、校舎を建てる金もなく、教師に給する金もなく、其他教育上必要な設備費が無くて教育は不可能であります。況んや中等以上の教育を授け授けらるゝに於てをやであります。

人は何を得心として働いて居るか

又外國に留學したい漫遊したい、外國と商業取引をするにしましても、先立つものは金であります。倫敦で出来た洋服を着たい、巴里で發行された新聞が讀みたい、伯林で製造された機械が欲しい、米國で出来た時計を持ちたいと思ひましても、其れを

金力は萬事を支配す

買入れる方法よりも代金が先決問題であります。金さへ拂へば世界の何處から何處品物を取寄せることも自由であります。金なしでは隣家に賣つて居る品物でも手に入れることは出来ません。銭湯へ行つても湯銭を取られます。木賃宿に泊つても宿泊代を取られます。便所でない所に立小便をしても料を取られます。裸體で歩いても跣足で歩いても料を取られます。料は茶碗の破片や紙屑で納めることは出来ません。天下通用の金銭を以て納めなくてはならないのであります。職工が會社工場に營々として働くのも、月給取が腰辨をぶら下げて勤務先へ通ふのも、商人が嘘八百を列べ立てて商品を賣るのも、新聞記者が種探しに熱中するのも、畢竟る所金を得んが爲めであり、猶以上多く儲けんが爲めであり、生活費を得尙ほ財産を作らんが爲めであり、坊主が殊勝氣な面付をしてお經を讀んだり説教をしたりして天晴宗教家を氣取り、脱俗無我無慾恬淡超凡を装ひましても、宣教師が我々は罪の子でありま

す、イエスキリストは神の子であります、悔ひ改むれば惡魔も救はれます、天國に行きます、アーメン、を器械的に連發して居りましても、矢張り金無しでは一日も半日も一時間も生きて居ることの出来ないものであることは我々と少しも相違はないのであります。

斯くの如く、今日の世の中は金力によつて支配されて居ります。國家も社會も個人も金無くては一日も生存生活が出来ない世の中であり、政治も外交も商業も工業も學問も文藝美術も宗教も教育も一切切萬事萬端悉く總て金力によつて左右せられ金力の前にはヘチャモクリンの如く木像の如く石塊の如く機械の如く自由自在に取扱はれ捻線廻されて居るのであります。少收入者諸君、是等の生きた現在の事實によつて見ても、如何に今日の世の中が金の世の中であり金力の世の中であり資本財産の世の中であり金權萬能黃金權威の世の中であるか、痛切に感ぜらるゝではありませんか。

三 生存競争と金力

何と云つても生存競争の世の中

定収入者及其他少収入者諸君、世界の平和が何うであり世界國民同盟が何うであり倫理道徳が何うであり正義人道が何うであるにしましても結局する所世の中は生存競争の世の中であり優勝劣敗の世の中があります。社会生活の原則が各人相互に於て各人相互の権利利益を尊重し自由を蹂躪せず共存共立するに在ることは申すまでもない事でありますが然し其共存共立の社会的な生活の裡にも激烈なる生存競争は行はれて居ります。猛烈なる優勝劣敗の活劇活動は間斷なく行はれて居るのであります。平和論者や社会主義者の中には世界の人類は今や平和と自由と平等の権利利益に傾き競争の一切を嫌忌し出来得る限り之れを回避せんとすることに忠實となりつゝあると言つ

て居りますが、今日の人類が殺伐なる戦争の如き野蠻的競争を嫌忌し能ふ限り之を回避せんとすることに傾向しつゝあることは事實でありまして、一切の競争的事實を嫌忌回避せんとしつゝあると云ふのは誇張の言で、縦ひ然らう云ふ現象が一部に起つて居るにしましても、人類全體が悉く然うなることは先づ絶対に無いと云つて間違ひはありません。人間社会から總ての競争心競争の事實を除けば、進歩も無ければ發達もありません。即ち文明の衰退凋落であり人間社会の滅亡であります。人智の發達も文明の進歩も畢竟するに人間に競争心が有り競争の事實が存するからであります。試に白痴瘋癲の如き精神病者を御覽なさい、彼等には何等の競争心もなく何等の競争的行爲もない、随つて彼等は精神的にも物質的にも發達なく進歩なく、精神行動共に野蠻的ではありませんか。人間社会から一切の競争を封じようと云ふのは結局人間を野蠻の如き否野獸にも劣つた生きた木像か機械人形の如からしめんとするものであります

て、其塵事を理想としたり主張したりするのは人間の本能本性を識らず文明的進歩達の原理を知らない愚の骨頂であります。無常訓没常識の頂邊であります。

此實社會の實證據を見よ

戦争の如き慘虐なる手段に訴ふる野蠻的生存競争は文明社會に禁物であるにしましても、而して然う云ふ生存競争は世界總ての人類が嫌忌排斥して居るにしましても、文明的社會生活を營みつゝ行ふ文明的平和戦争は嫌忌も排斥もして居りませんし、且つ現在に於ても盛んに猛烈に行はれて居り、且つ又然う云ふ平和的文明戦争は世界總ての人類の希望して居る處であります。然らば其の文明的平和戦争とは何であるかと申しますと即ち知識の競争であり、科學の競争であり、文藝美術の競争であり、商業上の自由競争であります。而して此文明的平和戦争は現在盛んに猛烈に行はれて

居るのみでなく、將來益々猛烈となり激甚となるものであります。随つて此平和戦争文明的競争の基礎となり土臺となり武器となるものは何であるかと云へば即ち財力であり金力であり資本であります。前にも繰返して述べました通り財力即ち金力即ち資本なるものは總ての知識總ての物質を得る唯一の必要物であります。個人の進歩發展、國家社會の進歩發達に先づ第一に必要なものであります。故に之れを有するところに於て猶以上潤澤なるものは生存競争上の優勝者となり得るのであります。諸君、先づ手近い所から其れを立證する事實を求めて御覽なさい。諸君の眼に映するもの、諸君の腦裡に浮び來るもの、社會の萬事萬端悉く財力金力が生存競争上の絶對唯一最上無二の武器であることを證據立て居ないものは何一つ無いでせう。

無財産者の境境遇のさ加減

明治維新を境界線とした以前の舊日本に於ては、個人も國家も社會も所詮未開野蠻たる事實を免れずして、金力の權威が武力腕力の爲めに壓伏されて居た時代に於きましては、武力腕力の優れたるものは生存競争に於て常に優越なる地位を占むることが出来たのでありますが、文明の今日に於ては武力腕力の優れて居るのみでは生存競争上の優勝者たり優越者たることは出来ないであります。如何に武力が強大でありましても、如何に腕力が衆に優越して居りましても、金力なく資本なく財産なきものは劣敗者として金力家資本家財産家の前に雌伏しなければならぬのであります。昔は金力なく財力なくても將軍は將軍であり、殿様は殿様であり、武士は武士、庄屋名主は庄屋名主としての地位を保ち權力勢力を振ふことが出来、赤貧洗ふが如く舐り上げたるが如くであつても學者は學者としての地位を保ち天下萬人より相當の敬意を表せられ尊重されたのでありますが、科學的新文明の今日に於ては金力なく財力なく資本

なくては如何なる大學者と雖も駄目であります。如何なる英雄豪傑的人物と雖も手も足も出ません。如何なる賢者智者と雖も生存競争の優勝者となり常勝者となつて優越なる社會的個人的生活を營むことは出来ないであります。

金力者の豪奢贅澤振りを見よ

之れに反して金力があり財産があり資本が有れば、少々位抜作であり呆房面をブラ下げて居りましても、立派な旦那様で通用しセントルマンで衆人の尊敬を受けて居るではありませんか。堂々たる華族と云ふ肩書を有つて居ながら財産のない爲めに陋巷に蟄伏して封筒張りの手内職に其日／＼の生命を辛くも繋いで居るものゝあるに反して、糞桶擔ぎの俵に生れても財産家となり成金となつた輩は馬車自動車を飛して天下の大道を我物顔に横行馳驅して居るではありませんか。最高學府たる帝國大學の教授で

生存競争と金力

も高利貸に借金して期日に返済が出来なければ獣のやうに品性人格の下劣な高利貸の前に平身低頭し哀訴嘆願して返済期限の延期を請はなければならぬではありませんか。金力なく財産なく資本の無い労働者は終日汲々として働いても、其得る所の賃銀は漸く數人の糊口を續ぐに過ぎないのに反して、金力家、財産家、資本家は何うであります、年百年中ブラ／＼して遊んで居ても日々莫大なる利益を收得して居るではありませんか。夏になれば避暑だ旅行だ、冬になれば避寒だ温泉だ、春は花に秋は月に紅葉に、浮かれ廻つて贅の澤澤の贅を盡しながら、年々歳々驚くべき大利益を得て居るではありませんか。晝は芝居見物などに愉快を盡し、夜は料理店に將た待合に美妓紅裙を擁して美酒佳肴に我を忘れ世を忘れ苦を忘れて人生無上の快樂に耽溺し、歡夢の享樂に浸りながら、其投下した資本より日々得つゝある所の莫大なる利益は、彼等が蕩盡する享樂費に數百位數千倍して居るではありませんか。貧民窮者が米價其他一

生存競争と金力

般物價の暴騰に青くなり、昭代に有るまじき騒動まで演じて居る眞最中、金力家、資本家、財産家は、物價の暴騰などは空吹く風と聞き流し、細民の生命懸の騒動を呑氣に見物して居たではありませんか。夫れ等しく人間であり日本人であつても、金力を擁し資本を有し財産を藏するものは遊んで居て莫大なる利益を收得し、死活問題の暴動を呑氣に見物し、金力無く資本を有せず財産を持たないものは汗や脂に塗れて働いても働いても妻子を養ふことが出来ない、微々たる一錢二錢の米價の高低騰落に驚愕狼狽し、果ては天下の法度を犯し刑事上の犯罪者たるを覺悟してまで暴動しなければならぬとは、之れ果して何を語り何を暗示し何を我々に教へて居るものでありますか。即ち今日の世の中が何と言つても結局する所金力の世の中であり資本の世の中であり黄金萬能の世の中であり、文明的生存競争に優勝者となり優越者となり、優越なる生存生活をするには金力者たることであり、資本家たることであり、財産家たるこ

とであり、金力は文明的生存競争上唯一最上の武器たることを教へ語り暗示して居るものでなくて果して何であります。

假に諸君が金力者であつたら如何

假りに諸君が金力者であり資本家であり財産家であつて御覽なさい、自分自から科學上の深奥なる知識なくとも、諸君は其等の専門學者を金力によつて己れの手足の如くコキ使ふことが出来るではありませんか。大技術家でも大智者でも雇人として願の先で驅使することが出来るではありませんか、幾百幾千幾萬の使用労働者は諸君の一言一令によつて諸君の意思の儘に動くではありませんか。若し夫れ諸君にして代表的金力者たり資本家たり富豪たらんか、諸君は自己の事業によつて年々歳々巨萬の利益を收得するのみでなく、政府よりは補助金とか奨励金とか何彼その名目の下に數萬數

十萬乃至數百萬圓を懐中に捻ぢ込むべくロハで頂戴することが出来ます。而して諸君は政府の國務大臣は素より、政治家を金力によつて籠絡し己れに好都合なる政策を行はしめることが出来るのであります。即ち諸君は金力によつて補助費とか奨励費とかの名目の下に國庫の金を掴み出すことも出来れば、政治家をして諸君の利益擁護増進になるやうな政策を行はしめ、國家の政治を左右し支配することも出来るのであります。

定収入者及其他少収入者諸君！。斯くの如くにして金力者資本家富豪は倍々利益を大にし益々資本財産を膨脹せしめ愈々益々金力の威力を増大し、國家社會を支配し經濟界事業界政治界資本界を左右して居るのであります。而して又斯くの如くにして金力者、資本家、富豪は愈々益々大金力者となり大資本家となり大富豪となり、貧富の懸隔は日に月に愈々益々甚だしくなりつゝあります。而して又斯くの如くにして金力

者資本家富豪は愈々益々生存競争場裡の優勝者たる地位を高め愈々益々其地位を鞏固にしつゝあるのであります。諸君は現在斯くの如き事實を眼前に目睹しながらも猶且つ金力が生存競争上唯一無二最高最上の武器であり權威であり力であることを否定することが出来ませんか。

金があれば馬鹿でも紳士

も一度繰返して言ひます。今や世の中は金の世の中であり黄金萬能の世の中であり、一切合切萬事萬端總て悉く金力によつて左右せられ支配せられて居る世の中であり、俗に地獄の沙汰も金次第、阿彌陀も金で光る世の中と能く言ひますが、實に今日の世の中を喝破し得た名句であり名言であります。金があれば王侯たらずとも金殿玉樓に起臥して贅澤三昧の生活をする事も出来ます。一寸裏表の判らないやうな黒い顔

にも、單に目鼻が凸凹して居ると云ふに止まつて居る凸凹面にも、金縁眼鏡を光らかにせば立派な旦那様となり紳士となる世の中であり、牛蒡の如き指にも金さへ出せば白金、金剛石の指輪を燦然たらしむることを得る世の中であり、美人も金、名譽も金、戀も金、愛も金、同情も金、慈悲も金、憐愍も金で賣買される世の中であり、親子喧嘩も夫婦の睨合ひも兄弟の争ひも親類の縁切りも金故起る世の中であり、家庭の圓滿も夫婦の和合も親子兄弟の親密も親類縁者の親睦も金力によつて左右される世の中であり、學者の知識も、世界的發明も金で買へる世の中であり。國家と國家との圓滿なる交際も個人と個人との平和なる交際も社會の安寧秩序が保持せらるゝも、強盜窃盜詐欺横領等の犯罪者が殖るのも減るのも、所詮金と云ふ問題を離れては考へられない世の中であり、

生活難も生活楽も金次第

定収入者及其他少収入者諸君！。是れ程金が附き纏つて居る世の中が金の世の中、金力の世の中ではなくて果して何であります。資本財産の世の中ではなくて果して何であります。金力が生存競争上の唯一無二最上最良の武器でなくて果して何であります。幸福を得るも不幸に陥るも、贅澤なる生活をするもせざるも、名譽を得るも得ざるも、紳士たるを得るも得ざるも、奥様たり令夫人として奉られるも妻君嬪衆として卑下せらるるも、人に頭を下るも下げさせるも、生活難に苦しむも苦しまざるも、美人を得るも醜婦だに得ること能はざるも、國家の功勞者たるも非功勞者たるも、旦那様御前様扱ひにせらるるも乞食扱ひ非人扱ひにされるも、泣くも泣かぬも、吠えるも叫ぶも金がさせる業でなくて果して何の力であります。

四 先づ金を尊重せよ

定収入者及少収入者諸君！

以上縷々として述べました所により諸君は今日の世の中が如何に金の世の中であり人間社會の一切合切萬事萬端總て悉く黄金資本財力によつて左右され支配されて居り、金力無く資本無く財産無きものは生存競争の激烈なる活社會に立つて優勝者となり社會的優越なる地位を獲得することの不可能であることがお解りになつたこと、信じます。随つて金と云ふものが如何に必要なるものであり、黄金資本財産と云ふものが如何に有難いものであり、之れさへ有れば愉快な幸福な而も社會的優越な生活をする事が出来ること云ふ結論に到着されたでせう。金力者資本家財産家が何故必死の努力を盡し鎬を削り向鉢巻となつて猶以上の金力者たらんとし猶以上の資本家たらんとし

先づ金を尊重せよ

先づ金を尊重せよ

猶以上の財産家富豪たらんとしつゝあるかの理由が釋然として分明された事であらうと思ひます。

現在の生きた事實の結論は何か？

其處で諸君、此の生きた現在の事實より得た結論によつて作らるべき否必然到達しなければならぬ第二の結論は、金は尊重すべきものである、如何なる努力如何なる辛苦艱難を嘗めても又如何なる奮闘も堪へ忍び打ち克つて金を溜めなければならぬ、黄金を獲得しなければならぬ、即ち金力者とならなければならぬ、資本家となり財産家とならなければならぬと云ふ事でありませぬ。世の中には未だ舊式の丁番思想に囚はれて金を卑しむ金の事を云々するものは人格の下劣なものとて非難排斥する人が尠くないやうでありますが、文明の今日、科學文明の進歩した今日、社會萬般の關係が

先づ金を尊重せよ

精神的關係でなくて經濟的關係によつて繋かれ融合されて居る今日に於て、金を卑しむ金の事を云々するものを人格の下劣なものとて非難したり排斥したりするやうでは到底今日の社會に優越なる生存を維持し優越なる生活をする事は不可能であります。然らは何故金が尊いか愛重すべきであるか此問題は頗る困難な問題のやうですが實は甚だ簡單明瞭單純一の問題であります。即ち人生の一切切萬事萬端總て悉くを左右し支配する力あるものであるからであります。國家にしましても金力のない國家は縱令武力が如何に強大でありましても優越なる獨立を維持して國際間に優越なる地位を占むることが出来ません。御覽なさい、米國を見て而して支那を御覽なさい。米國は拜金家の本家本元でありまして決して武力の國ではありませんが、米國の獨立は常に安全堅固であり米國の國際的地位は常に第一線に安定して居ります。而して世界に於ける經濟的發展は常に實に驚異に價する程の目覺しさ鮮かさであります。之れ

先づ金を尊重せよ

に反して支那は東洋文明の祖先國であり系統から言へば武力の國であります、其版圖の廣大なること其國民の多いことは世界に於て一二を争ふ大國であります。然し此の大國の現在の状態は何うです、果して大國たり東洋文明の祖國たる實がありますか。其文明的進歩に於て、其經濟的發展に於て、其個人の知識の文明的開化程度に於て、其國際的地位に於て、遙かに後進國たる米國に比肩する所が一つでもありますか。世界の諸強國からは好加減に扱はれ、國民は蒙昧な愚民のみウヨクして居り、國家としても個人としても文明的進歩は遅々として牛歩所の話でなく、國際的地位は常に劣等國として取扱はれ弱國として遇せられ、列國のお情日本の庇護によつて辛ふじて獨立國たる面目を保つて居るではありませんか。而して鑛山とか鐵道とか税金とかを抵當として列國から借金し遺線算段ばかりして居るではありませんか、之れ畢竟金が無く金力が薄弱で財政困難である結果に外ならないのではありませんか。而して高い

先づ金を尊重せよ

利子を拂ひ平身低頭叩頭の百萬遍を繰返して漸く借金し得た結果は何うかと云へば、債權國からは常に横柄な面をして弱國扱ひにされ、あれを貸せ是れを譲れと好き勝手な要求をされ、厭だと言へば直ぐに拳骨を振り上げて威かされる、何から何まで御無理御道理として唯々諾々平身低頭米搗バッタの如く叩頭して居なければならぬではありませんか。又英國を御覽なさい佛蘭西や獨逸を御覽なさい。英國が英國商品の到處太陽の没することなしと傲語するに對して世界の何人も之れに文句をつけることのない程に商權が擴張されて居るのも、三百隻三百萬噸の龐大なる海軍を擁じて世界最太の海軍國だと威張つて居るのも、英語が世界語か世界語か英語かと云はれる迄に英語が世界を横行し、國際間の外交文書から商工業上の取引文書まで英語でなくては世界的に通用せぬと云ふまでの素晴らしい勢となつたも、結局どころ金があり金力があり資本國であり富豪國であるからではありませんか。又獨逸が今度の戦争で

先づ金を尊重せよ

世界を相手に五年間も戦を續けたのも、單に武器の精銳兵隊の強猛、戰略、戰術の優秀國民の共同一致のみではありません、武力が強大なると同時に金力があり國家の富が大なるからであり、國民が平生から金力の集中富の蓄積増進に努力して居たからではありませんか。佛蘭西が世界隨一の文明國と稱せられて居るのも支那や露國や日本などに金を貸して債權國で威張つて居るのも、白耳義が描の額程の領土でありながら支那のやうな大國に頭を下げてさせて威張つて居るのも、畢竟するに金があり金力國であり資本國であるからではありませんか。斯くの如く國家が屈するも伸びるも興るも亡ぶるも金故である以上、金が尊重すべきものでなくて何であります、愛撫すべきものでなくて果して何であります。又個人的に觀ましても、金に困つては殺人強盜竊盜詐欺横領などの大罪を犯すではありませんか。親子の間でも金故には睨み合ひとなり訴訟沙汰を惹起し、天下に赤恥を曝げ出すを意としないではありませんか。兄弟姉妹の

間でも金故には掴み合ひの喧嘩もやります、訴へる訴へられるの騒ぎを演じます。又十年の深交も僅かな金の問題から絶交となり喧嘩口論となり法廷に黑白を争ふと云ふやうな事にもなります。金欲しさには大切な貞操まで切賣して厭はない女が數知れずあるではありませんか。家庭の波瀾、夫婦間の衝突、結婚の難易と云ふやうな事も畢竟するに經濟問題財産問題金問題に起因して居るものが九分九厘ではありませんか。結婚の第一要件として百人か百人千人が千人とも注意することを忘れず調査すること忠實なるものは、容貌の美醜でなく、血統の如何でなく、人物の如何でなく、繁累の有無でなく、年齢の老若でなく、一に金があるか無いかであり財産家であるか否やの問題ではありませんか。これでも金は尊重すべきものでない愛撫蓄積するものでないと言ふことが出来ますか、之れでも金は卑しいもの人格を汚すものとして排斥するが至當だと言ひ得ますか。

先づ金を尊重せよ

金錢を輕んずる者は一生弱者て成貧

今日の世の中に生きて居ながら金を輕んじ資本財産の威力を蔑視するものは局る所生存競争の落伍者たらんとするものであり、弱者不適者劣敗者として成貧生活に一生憂き目を見んとするものであり、一身一家の滅亡を招かんとするものであり、時代を知らず世の中を解せず無鐵砲に生活せんとするものであり、雲助生活に甘んじて紳士的生活を拒否するものであり、到底今日の世の中に生きて居る資格の無いものと謂はなければならぬのであります。

定収入者及其他少収入者諸君！私は茲に諸君に投資法を説く前に、前提として先づ金を愛撫せよ金を尊重せよ大いに拜金家たれ唯一の戀人は女でなく男でなく金であり資本財産であると思ひ、誰が何と非難しようと思ひ、此決心此覺悟此信念

を變更すべからずと云ふことを忠告したのであります。諸君私の言を奇矯の言となす前に靜かに世の中を見渡し世の中の事實を檢分して御覽なさい。今は富豪と稱せられ成金と謂はれ資本家金力者と稱されて居る人にして、金を尊重愛撫せずして富豪となり成金となり資本家財産家金力者となつたものが果して一人でもありますか。而して現在に於て金を愛せず金を戀せず金を尊重しない富豪資本家成金財産家金力者が果して一人でも在りますか。金を輕蔑し金を愛撫しないものに金は集りません。人材を尊重し人物を愛撫優待しない人の下には人材人物が集らないと同じく、金の尊ぶべきを知らず愛すべきを知らない人に金は集るものでなく儲かるものでなく溜るものでなく來るものではありません。是れは必ずしも日本のみではありません、世界の何處に参りましても何國の金持でも金を輕蔑し金を卑下し排斥して富豪となり財産家となり資本家となり成金となり金力者となつたものは昔から今日まで一人もないのであります。

先づ金を尊重せよ

す。彼等は悉く金の尊重者であり愛撫者であります。彼等は總て金力萬能の信認者であり、拜金家であり黄金宗の忠實熱心なる信徒であります。故に諸君が猶以上多くの金を得んとするならば、猶以上の金力者たり財産家たり資本家たり富豪成金たらんと欲するならば、先づ金を尊重し金を愛撫し忠實熱心なる拜金家となり黄金萬能宗の信徒となることゝ絕對に必要であります。諸君にして此決心なく此覺悟信念なくして金を得んとしても、其れは所詮無駄であり不可能であり駄目であります。想ふに本書の讀者は必ずや金を欲する人であり資本家産家たらんと欲する人であらうと思ひますが、然し讀者は先づ拜金家となり黄金萬能宗の信者となり、金の尊重愛撫者とお成りなさい。而して左に詳述する投資の方法によつて諸君の小資金を運用しなさい。然うすれば必ず諸君の欲するか儘に小資本は大資本となります。諸君の思ふ通りに財産家となり金満家となることゝ出來ます。諸君の希望し理想する所の如く富豪となり大資

本家となり金力者と成ることが出來るのであります。此の事は金力者資本家成富豪財産家たらんとするものゝ絕對必要條件であり、其心得の第一條第一項に屬するものであります。故に、讀者諸君に對し私は特に茲に注意して置きます。

五 定収入者ご投資利殖

少収入者の利殖は果して不可能か？

前提論が聊か長くなりましたが、順序として茲に述べて置かなければならない事は定収入者及其他少収入者と投資と云ふ問題であります。即ち現在既に幾何かの資本を、つて居るものが投資を行ひ之を利殖して猶以上の大資本とするのは投資物のゴロ／＼して居今日何でもない事であらうが、現在全然資本と云ふものを鑑一文も有つて居ないもの例へば下級官公吏とか會社員商店員とか小商人であるとか云つたやうな

定収入者ご投資利殖

者で日々なり月々なりの収入の少ないものが、投資放資をすることは果して出来ることであるか何うかと云ふ問題であります。其れは決して不可能な事でないのみでなく、遣り方によつては苦心も要らず策略も要らず、極めて簡単容易に出来る事であります。不可能と云ふのは可能なる投資法を知らないからであります。多少方法さへ研究すれば何でもなく出来るものであります。

然るに世間には斯う云ふ事を言つて居る人があります。「投資と云ふものは文字の示す通り資本を投ずると云ふ事ではないか、即ち現在所有して居る資本を猶以上の資本に増殖増大せしむる爲めに、或る有利な物件に資本を下すと云ふことではないか、随つて月々百圓以下の収入によつて家計の一切を支辨して居る所謂安月給取であるとか月給ではないが毎月の収入が百圓以上に上らないものであるとか、或は日給取りであるとか、毎月の収益の少額なる小商人であるとかと云ふやうな少収入者にして現在鑑

一文の資本も有つて居ないものは、投資を爲ようとしても投資することが出来ないではないか、畢竟どころ投資は資本家の遣ることであつて無財産者たり無資本者たる少収入者には到底絶対に出るることではないか」と云つて、投資とは資本家の遣ること、成金富豪等の遣ることであつて月給取や日給取などの少収者の遣れることではないと解釋して居るものが尠くないやうであります。併しながら是れは投資と云ふものを皮相的に單純に解釋したものでありまして、投資の性質について徹底的知識のない人の言ふ事でありませう。

遣り方一つて容易に出来る

元來投資と云ふものゝ性質が資本を投下すると云ふものである事は、餘りに明白で敢て説明する迄もないことではありますが、だからと云つて資本家でなく財産家でなく

富豪金満家でないものは絶対に不可能であると云ふものではありません。其れ程投資と云ふものは融通の利かない客なものではないのであります。縦令現在一圓の資本も有つて居ないものでありましても、縦ひ百圓以下の安月給取であり一圓二圓の日給取りでありましても、或は又月々の収益の聊かな小商人であり、不定収入で毎月百圓以下であるものでありましても、遣り方即ち方法の如何によりましては苦もなく譯もなく甚だ容易に出来るものであります。

思ふ丈けては財産は出来ぬ

素より投資と云ふものが有利有益な物件に對して資本を投下し利益を收得するを目的とするものである以上、如何なる場合に於ても亦手空拳無一文で而も資本家の投資と同様の投資を爲し得るものでないことは今更言ふ迄もない分明事であります。随つ

て若し其方法に於て何等の工夫もせず何等の研究もせず又何等特別な手段方法にもよらずして資本家と同じやうな投資法を行ふ方法はないかなどと思ふものがありましたら、其れば富士山の頂上に胡坐をかいて居ながら太平洋の真中で鯨を捕獲する方法はないかと思ふに等しきものであり、一圓の旅費も使はずして巴里のオペラ座を見物せずんと欲るに等しきものであり、到底絶対に出来ない相談をするものであります。石塊で豆腐を作り馬の面を人間の顔に作り直さんとするに等しきものであり、白痴癡癡をしてセー・スピヤを堂若たらしむる大劇作を爲さしめんとするに等しきものであり、到底絶対に不可能なることと容易に可能ならしめんとするに等しきものであります。

要は只利殖の方法如何に在り

故に無資本の少収入者が有利な投資を行はんとするに當りましても、矢張り夫れ相

當の資本を必要とするものであることは之れ亦申すまでもない事ではありますが、要は只だ其投資の方法如何であります。普通資本家が行つて居るやうな投資の方法によつて投資を爲ようとすれば、矢張り資本家と同様何萬圓何十萬圓の大資本を要するのであります。私が左に述べる特殊な方法によつて投資をすれば、有利有益なる投資が百圓の安月給取にも出來ます。五拾圓の月給取にも出來ます、四拾圓三拾圓と云ふ低級級別にも出來ます。又日給一圓のものにも出來れば六七拾錢から五拾錢位の日給取にも出來ます。又月々僅かな利益を得て衣食住を支へて居る所謂小商人にも出來れば月百圓以下の不定収入者にも出來ます。而して其方法たるや至極簡單な方法であり至極容易な方法であります。而して又其人が大學出身の素養ある人であらうと小學校を出た位の殆んど無學に等しい素養も學問もない人であらうと、其んな事には少しも關係なく出來るのであります。故に左の手段方法によれば、官公吏にも投資が出來ます。

會社員 銀行員 商店員にも投資が出來ます、小學校の教師にも出來れば巡查にも出來ます、電車の車掌運轉手にも出來れば、職工其他如何なる労働者にも出來ます。妻君にも出來ればお妾さんにも出來ます。而も容易に簡單に譯なく有利有益なる投資が出來るのであります。

諸君の着眼點が間違つて居る

定収入者及其他少収入者諸君！如何にせば資本家となり財産家となり得るかに應心することを止しなさい。何うすれば成金たることを得るかに焦慮することを止しなさい。米價が暴騰した炭や醬油が騰貴した其他一般物價が何割高價くなつたと云つて驚くのを止しなさい。其割合に月給日給が増加されないと云つて生活難を叫ぶ事をお止しなさい。又何人が何んな成金に成らうと、富豪資本家が何麼眞似を爲よう

と、其れを羨んだり妬んだりすることをお止しなさい。又思慮のないものゝ野次的暴動に捲き込まれて監獄に食ひ込むなどの愚をお止しなさい。そんな漠然とした事に腐心する時間があったら少し世の中を冷静に廣く見渡しなさい。そんな雲を掴むやうなことに焦慮する閑がありましたら成金となる實際的事實其物に着眼して研究しなさい。物價の暴騰に青くなつたり生活難を叫ぶ餘裕がありましたら、物價が現在の何十倍に騰貴をしようと驚かず騒がず生活難などの貧乏神に附纏はれないやうな方法を冷静に忠實にお考へなさい。月收なり日收なりが雇主の方から増加されなかつたら、其んな我利主義な、世の中の事の分らない、人を使用することを知らない、そんな没分曉漢の情けも思ひ遣りも同情もない冷血我利々々動物によつて増給増俸されんと期待することを斷然思ひ切りなさい、そんな男らしくない依頼心をお棄てなさい、そんな意氣地のない弱音を吹いて閉口垂れることをお止しなさい、そんな人の成功を見て羨

んだり妬んだりするなどの女の腐つたやうな詰らない根性は今日只今限りお棄てなさい、而して堅實な意思の人となつて少収入でも無資本でも其れで容易に簡単に遣れる手段方法によつて資本家となり財産家となり金力者となつて社會的優越なる地位を占め生存競争場裡の強者勝者となり愉快な人間らしい生活をするをお考へなさい。世の中は狭いやうで廣いものであります。金は必ず金を愛撫尊重するものに集ります。諸君が金を尊重し金を愛し、正當なる手段方法によつて得て正當なる手段方法によつて正當なる事に使用するならば、世の中に金を得る方法は幾らも有ります。大いに儲けて資本家となり金力者となる手段は幾らも轉がつて居ります。金と云ふものは赤ン坊のやうに人見知りをするものではありません、資本家の懐にのみ抱かれるものとは定つて居りません、何んなむさぐらしい裏長屋にでも、何んな境遇職業地位の人の懐ろにでも、尊重愛撫して呉れて招き寄せる手段方法さへ巧みであれば喜んで遣つて來

て抱かれてせつせと御用を勤めるものであります。

定収入者及其他少収入者諸君！。諸君が辛ふじて生活し得る丈で成金になれないのも、資本家となり金力者となれないのも、畢竟するに諸君が金を得る方法手段に迂遠であるからであります。注意が足らず研究が粗漏であるからであります。金を尊重せず愛しないからであります。得る儲けると云ふ手段方法に拙劣なことを遣つたり到底出来ない事を遣つて見やうとしたりするからであります。諸君金は諸君が招き寄せらるのを待つて居ります。諸君に尊重され愛せられて諸君の財産となり諸君の生活を優越にし諸君の一切の御用を勤めるべく待ち構えて居るのであります。其金を得ると得ざるとは一に諸君が僅かな注意と研究と努力を措むと否とにあるのであります。元來金を得る金力者となる資本家となることは人間の爲し得る事の中で最も容易なものであります。學者になる博士になる國務大臣になると云ふことよりも容易いこ

とであります。變人になる奇人になる美人になる美男子になると云ふことよりも簡單なものであります。試みに世の中の事實を見渡して御覽なさい。年々歳々帝國大學其他幾多の私立大學を出るものは日本に大學の創設されて以來幾萬人あるか分りませんが、眞に學者と稱せられるもの博士の學位を獲得し得たものが果して幾何ありますか。年々歳々未來の大臣宰相を目的として都にワイ／＼押寄せる遊學生は幾萬の多きを數ふる有様であります。事實大臣宰相の椅子に辿り付き得たものが果して幾人ありますか。又變人奇人と云ふものは性來的のものであります。成らうとして何人でも成れるのではありません。而も今日新聞に雑誌に其他凡ゆる手段方法によつて廣告される色を白くする薬などは數へきれない程澤山あり、又其れを買つて美女美男たらんとし、て浮身を養つて居る男女は世の中に幾らあるか殆んど想像もつかない程多數であります。せうが、事實其等の化粧品や薬液によつて美人となつたものが世の中に幾人あります

か、私の狭識せうしきによるかは存ぞんじませんが、此薬液このやくえきまた又は化粧品けしやうひんを平生へいぜいし使用すれば眞しんに惚々ほれぐする美人びじんとなると云ふ廣告くわうこくの文句もんくは日に幾回いくわいとなく讀よまされて居をりますが、其れを使し用して美人びじんとなつたと云ふ人に會あつたこともなければ聞きいたこともありません。然しかるに金かねを儲まうける資本家しほんかになるには必かならずしも大學だいがくを卒業そつげふする必要ひつたうはありません。色白いろしろくなる薬くすりや化粧品けしやうひんを附つける必要ひつたうもありません、又た十年二十年苦心ねんくしん慘憺さんたんして研究けんきうする必要ひつたうもありません。其れが嘘うそだと思おもつたら世の中の資本家しほんか財産家ざいさんか金力者きんりきやくしゃと稱しょうせらるゝ人々ひとびとを御覽ごらんなさい、赤手空拳せきしゆくわんにして僅わずかの間に巨萬きよまんの富とみを得えたと云ふ人を御覽ごらんなさい、現げん在ざい盛んに金儲かねまうけをして居をる人々ひとびとを御覽ごらんなさい、財産家ざいさんかとか富豪ふがうとか云はれて萬人ばんにんの羨望せんぼうの燒點せうてんとなつて居をる人々ひとびとの中にも何等なんらの學識がくしきも素養そやうもない無學者むがくしゃが澤山たくさんあるではありませんか、自分じぶんの姓名せいめいを書かく位くらゐが關せきの山やまで手紙てがみさへ碌ろくに書かけないと云ふ金持かねもちが世の中なかにはウヨ／＼して居をるではありませんか。一代だいに巨萬きよまんの富とみを積つんだと云ふから何

んな豪い人物じんぶつかと思おもつて實際會じつさいあつて見みれば少すこしの豪い所ところもない只ただの人ひとである人が世の中なかに少すくないではありませんか。而しかして又目まために一丁字ちやうじないやうな人ひとで現げん在ざいドシ／＼金儲かねまうけをして資本家しほんかとなり金力家きんりきかとなりつゝあるものが數限かずかぎりなく在あるではありませんか。此この明白めいはくにして絶對ぜつたいに争あそふ餘地よちのない世間せけん幾多いくたの事實じじつは即ち我々われわれに金かねを儲まうけて資し本家ほんかとなり金力者きんりきやくしゃとなり財産家ざいさんかとなることが學者博士がくしゃはかせになるよりも、大臣宰相だいじんさいしやう、乞食こじき、泥棒どろぼうとなるよりも甚だ簡單かんたんであり容易よういであることを教おしへ示しめして居をるものでなくて果はたして何なんであります。効能きうねさうできかない毛生薬けはへんすりや成なりさうで成ならない色いろを白しろくする薬くすりなどを塗ぬたくつて無い毛けを生はさせんしたり元來ぐわんらい黒い色いろを白しろくせんしたりするよりも甚だ簡單かんたんであり容易よういであり無理むりでない注文ちうもんであることを教おしへ示しめして居をるものでなくて果はたして何なんであります。人ひとを殺ころすよりも人ひとに殺ころされるよりも甚だ容易よういであり甚だ簡單かんたんであることを明示めいじして居をるものでなくて果はたして何なんであります。

六 小収入者の投資利殖と投資利殖物

利殖は生殖作用に同じ

さてイヨ／＼投資利殖の實際的方法手段について説明すべき順序となりましたが、然し其れを述べる前に小収入者の投資利殖と投資利殖物について述べて置きます。前にも述べました通り投資即ち利殖と云ふものは元來讀んで字の如く或物件に對して資本を投下し其れによつて利益を收得するを目的とするものであります。故に、投下すべき資本が必要であることと投資すべき物件が必要であることは今更申すまでもないことであります。例へて云へば恰度生殖と同様なものであります。即ち資本は男であつて投資物件は女であり、其利益は子供であります。生殖即ち子供を儲けるに男ばかりで出来るものでなく又女ばかりで出来るものでなく男女の適當なる生殖作用に

よらなければならぬやうに、投資上の利益と云ふものも女たる投資物に對して男たる資本が適當に合理的に働かなければ得られるものではないのであります。小収入者の投資と投資物について私が茲に多少の言を費さんとするのは、即ち少収入者が資本と云ふ男子を投資物件と云ふ女子と娶はせて利益と云ふ子供を猶多く儲けんとするには、如何なる投資物が適當であり、其適當なる投資は世の中に何程有るか前以て調べて置かうと云ふのであります。

併しながら投資者が元來少収入者たる安月給の官公吏や會社員や小商人や労働者と云ふやうな種類の人々でありまして、全然資本と云ふものがないのでありますから、投資物なるものも其れに適當なるものを選択しなければならぬのであります。投資者が何萬何十萬圓と云ふ資本を有して居るものでありましたら、特に調べるまでもなく幾多の有望有利なる投資物件が轉がつて居りますけれども、無資本にして而も少收

者であるものが、投資をするには何でも御座れと云ふ譯には参りません。理論上から言へば何でも構はず収益の多いものであれば宜いのでありますが、資本が無いと云ふことと縦令有つても資本を作るべき収入が少くない爲めに作られた資本も亦零細なる小資本に過ぎないと云ふこととよりすれば有利有益なる投資物件でさへあれば何でも構はぬと云ふことは實際に於て不可能であります。例へば新利権地の内蒙古に大鐵鑛脈が發見されて何人でも之れに投資する事が出来ると云ふやうな場合、其れが専門家の實地調査の結果稀有の大鐵鑛脈で採掘にも運搬にも便利な地勢に在るとすれば、投資物としては最も有利有益なもので、之れに投資すれば一代に巨億の大富豪となり得ることが明白でありまして、斯う云ふ種類のものになれば尠くとも數千萬圓の大資本を投下しなければならぬのでありますから、百圓以上の安月給取や微益に生きて居る小商人や五十錢一圓の日給取などの貧乏人には夢でもなければ出来ぬこととで、

宛で風が象に向つて喧嘩を吹かけるやうなものであります。或は又大都會の郊外に數萬坪の賣地があつて坪當り五圓位の價格である、而して四五年内には市街地となり地價は少くとも二十圓以上に騰貴することが既定の事實と云つても差支ないほどに見えて居るとすれば、投資物としては實に優秀此上もないものであります。總坪數が數萬坪であるとすれば數萬圓乃至數十萬圓の大資本を要するのでありますから、月收百圓以下の小收入者には到底思ひも寄らないこととあります。又建物にしましては數萬圓數十萬圓の大資本を要するものであつたら、如何に有利であり有益でありまして、小收入者の投資物件としては絶対に不適當のものであります。嫁を貰ひ贅を貰ふにしまして、貰ふ方が貰はれる方の地位とか財産とか云ふものゝ均衡がとれて居なければ、貰つても貰はれても満足なる結果を得るものでないことは、世上幾多の事實に明々白々に立證して居る所であります。小收入者の投資と投資物と云ふ關係に

於きましても、矢張り相應と云ふことが必要であります。結婚に於て釣合はざるは不縁の原因であるが如く、投資者と其資本と投資物との釣合がとれなければ、縦ひ投資をしたにしましても、結果は必ずや満足を期待することが出来ないのみでなく、却つて不利損失の結果となるものであります。故に小収入者の投資の實際的方法を述べに當りましては、先づ前以て其投資物の種類を擧げて置かなければならないのであります。これは投資法説明上の順序でありまして復た投資をする上に於ての絶対必要事項であります。

少収入者の投資利殖に適する物件

其處で月々の収入百圓内外以下の小収入者諸君が投資を行ふに適する投資物は何う云ふ種類のもので其數はどれ丈けあるかと申しますと、それは随分種類も多く數も小

さいものまで擧ぐれば數百を算することが出来るのであります。併し中には投資物としては有利有望なものであつても復雜面倒なる手数を要するものもあります。又到底片手仕事と云ふ譯には行かない即ち其れ専門にかゝらなければ充分の利益を收得することが出来ないといふものもあります。自分一人では出来ない即ち代理者とか幾人かの雇傭人を置かなければならないと云ふものもあります。或は又日々非常に精神を使はなければならぬものもあります。又多少の危険を免かれないものもありまして、其等多數の投資物が悉く安全であり確實であり簡單であり容易であり收益多大であるとは申されないであります。故に何の方面から見ても實際に投資して利益を收得するに簡單であり容易であり安全確實であるものを選択しなければならぬのであります。其資格ある投資物としては先づ第一は有價證券であります。一口に有價證券と申しましても種類は澤山あります。即ち會社の株券も有價證券であれば内外公債も有

小收入者の投資利殖と投資利殖物

價證券であり、會社の社債券も有價證券であれば勸業債券或は貯蓄債券も有價證券であります。又地方の行政官廳で發行した地方債も有價證券であれば自治團體で發行した市債等も有價證券であります。然らば有價證券であれば如何なるものであつても安全確實で且つ有利であるかと云へば夫れは必ずしも然うとばかりは申されません。有價證券の中にも安全確實であつて且つ利益の多いものもあれば、安全確實でなくて利益の少ないものもあり、或は又安全確實ではあるが利益の少ないものもあり、利益は多いが必ずしも安全確實と謂へないものもありまして一様には申されないのであります。随つて投資を行ふに當りましては、先づ安全確實であつて且つ利益の多いものを選択することが必要であります。

第二の有利なる投資物としては家畜であります。即ち家畜を飼育するのであります。家畜と云へば牛馬の如きも家畜でありますが、牛馬の飼育は資本も大資本を要します

し、牧場も廣大なものでなければならず、其他種々の費用が嵩みますので、月給取や日給稼人などが勤務の傍遺る仕事には到底絶對に出来ないことでもあります。故に家畜投資は大資本を要せず牧場などに廣大な地面を要せず、家庭的に飼育の出来るものでなくてはなりませんので、小收入者の投資を行ふには鶏、兔、豚、狗などの僅かな資本で遣れて面倒でなく簡單容易で收益の多いものであります。

第三の投資物としましては藥草藥木の栽培であります。今日藥草藥木の栽培は大分世間で奨励もされて居り實際に栽培して居るものも尠くありませんが、斯う云ふものは一時的の流行でなく、日本の藥物界が今後自給自足的に獨立する必要があると云ふ國家的社會的必要に原因して居る事實の傾向でありますが故に、現在幾何の栽培者があつても、あるにしても藥草藥木の栽培は是れで宜いと云ふことはありません。今後愈々益々需用の増加することは今日既に文明なる事でありまして、随つて今後之れに投資して

小收入者の投資利殖と投資利殖物

少收入者の投資利殖と投資利殖物

新たに栽培を始めたからとて、収益状態が非有望になるなどのことは断じてないと申して宜いのであります。

第四の投資物としましては種々の有利なる内職であります。即ち有利なる内職を有利な条件下で下請合をするのであります。内職に投資すると云へば、内職などに投資して果して利益があるのかと思ふ人があるかも知れませんが、内職投資の利益を疑ふ人は内職と云ふものゝ性質を知らず、内職を出す資本家が如何に多大の利益を占めて居るか、又其下請をして居るものが現在何程の利益を收得して居るかの實際状態に暗い人でありまして、内職に對する投資は一寸人の氣の附かない投資であります。

それから小口貸金の如きも有利な投資であります。小口貸金と申しましては日歩貸もあれば擔保貸付もあります。擔保貸付にも持込擔保と非持込擔保などの種類があります。然し日歩貸の如きは回収に頗る面倒ですから一定の職業を有つたものの副業的が出来るのであります。

其他或特殊權利に對する投資法もあります。即ち特殊の場所に於ける權利例へば有利な地點に在る露店又は商店等の權利を譲受け、之れを他に又貸しするのであります。都會地では有望な地點にある商店とか露店とか云ふものは大抵權利附であります。少きも三四十圓多きは數百圓數千圓によつて取引されて居ります。然し公然權利譲渡代として請求するものはありませんが、多く雜作代などと稱して賣買して居ります。諸君が有利な地區にある讓店などに行つて聞いて御覽なさい、雜作と云へば代金にして僅か二三十圓のものでも二百圓とか三百圓とか稱して居ります。又居抜きを儘讓るものであつたら、實際は一切合切價格に見積つて百圓内外のものであつても、五百圓

小收入者の投資利殖と投資利殖物

とか六百圓とか吹掛けて、然う云ふ内面的事情を知らない人は聞いただけで呀と驚かされます。是等は雜作代とは稱して居りますが、其實其場所の權利讓渡代と云ふものであります。故に斯う云ふものに投資して轉貸すれば月二三割以上の利廻りとなることは確實で、世間幾多の事實が之れを證明して居ります。

又特殊有望なる發明品なども投資物としては頗る有利なものでありまして、僅かな資本を投下した爲めに現在數萬數十萬圓の大利益を收得して居るものは世間に幾らあるか知れない程であります。併しこれは前記投資物と違つて、總ての少收入者が悉く投資する程に數の多いものでないのでありますから、投資物としては有利なものであります。が一般的投資物と謂ふことは出來ないのであります。

五圓拾圓の資本でも収益二十割三十割

斯くの如く、世の中には小資本を投じて二三割以上二十割三十割と云ふ大利益を得る投資物がありました。右に掲出した以外猶幾多の投資物が存在して居るのであります。故に少收入者諸君にして少しく其方面に注意し多少研究すれば五圓拾圓と云ふ零細なる資金を運用して一代に數萬の財産家となり資本家となり金力者となることは決して困難なことでも何でもないであります。

然しながら世の多くの少收入者諸君は現在得つゝある収入が尠いのと物價の變動による生活難と世態の複雑と云ふことに煩はされて、零細な資金を運用すべき投資物の研究とか運用方法の考慮と云ふことに缺けて居るやうであります。或は又只だ無暗に急速にウンと儲かる事はないかと云ふことのみを漠然と思つて居たり、或は早く儲けたいと焦燥つて肝腎の儲かる事物の研究を馬車馬的に遣つたり急行列車的にやつたりして居るものもあり、或は多少の資本は有つて居るが何う云ふものに投資をしたがよ。

いか、殆んど迷ひ惑つて居る人も尠なくないやうであります。

其處で私は世の多くの少收入者諸君に對し、諸君の五圓拾圓と云ふ零細なる資金を運用して相當の資本家たり財産家たり金力者たらしむべく、少收入者の投資法を示教し誘導してあげたいと思ひ、本書を公刊して一般少收入者諸君に提供する次第であります。随つて私が本書を出版するのは私自身の利益の爲めではなく、徹頭徹尾世の少收入者諸君が大資本の爲めに壓迫されて居る無金力者たり弱者たる境遇に憤慨同情してのことであり、且つ以下詳述する所の投資法は悉く私自身の實驗によるものであり、現在私が實行して居る投資法でありまして、無責任なる机上の空理空論とは大いに趣を異にして居りますが故に、讀者諸君に於ても其積りで讀んで貰ひたいのであります。随つて本書に記述する投資法について不明の點がありましたら返信料さへ御支辨下されば何時でも御質問に應じます。猶ほ投資の代行調査等も本書の讀者に限り取

扱ひます。是れは私が本書を公にする上に於ての責任でありまして、私は此責任行爲の證言は直ちに本書が無責任な著述でないことを裏書するものであることを信ずるのであります。

七 本書に説述する投資利殖法

然しながら現在世間に存在して居る凡有る小資本投資について一々詳細なる投資の方法を説述することは、到底小冊子に盡さるべきものではありません。其れを悉く網羅しようとするれば何う節約的説明をしましても一千ページ以上の大冊となりまして、代價も亦二圓三圓と云ふ高價なものになります。然うなれば投收入者諸君に買つて頂くにしましても甚だ不都合で、高價であるために一般に行き渡らない虞れがあります。其れでは折角一般少收入者諸君の爲めにと云ふ私の趣旨が縦ひ全然没却されな

ても、徹底的でなくなることは明白であります。

故に本書に於ては少收入者の小資金投下に適する幾多の投資物中より選擇に選擇を加へ、最も有利有益であつて且つ最も簡単容易であり安全確實である有價證券投資法を出來得る限り詳細に説明し、何んな人にも、本書一卷の精讀によつて有價證券投資法の性質、方法、及び運用の方法等を充分に領解し得るやうに努め、他の投資物については投資法は投資物と投資者の境遇とによりて區別し、別冊として刊行することにしました。随つて本書に述べる所の投資法は有價證券に對する投資法のみであります。有價證券でも種類によつて投資の方法が異なります。株券は株券としての投資法があり、債券は債券としての投資の順序方法がありまして、決して一樣ではないのであります。然し何れにしましても、年三四割乃至二三十割の利益を收得する投資法であることは、私自身の經驗によりまして、世間幾多の實行者の成績に見ましても確實

なることが立證されて居ります。

八 資金の程度

資金は何程あればよいか

投資法を説くに當つて第一の問題は資金の程度であります。即ち小收入者が投資を行ふには一體何程の資金があればよいかと云ふことであります。凡て如何なる種類の投資に限らず、投資と云ふからには資本無くして出來る投資と云ふものは世の中に一つもありません。資本を投すると云ふのが即ち投資である以上大小多寡は別問題として資本と云ふものが必要であると云ふことは明白なることで、今更管々しく説明する迄もあるまいと思ひます。

五圓でも拾圓でも百圓でも何程でもよい

そこで少収入者の投資には先づ何程の資本を要するか、幾何の資本あれば投資か出来るかと申しますと、其れは投資の程度によつて相違がありますので、一定的に何程の資本を要すとか何程有れば可なりと云ふのは適當ではありません。故に極く小規模の投資を行はんとすれば五圓でも可、拾圓でも可、五拾圓乃至百圓でも宜しい、又五百圓でも千圓でも一萬圓でも宜しい、資金は多い程有利な投資が出来ると云ふのが投資上の原則でありますから、多い程有利であり資本膨脹の程度も迅速であります。然し最低は普通投資法即ち單獨投資を行ふ場合は五圓乃至拾圓以下では一寸困難であり、満足なる利益を收得することは先づ出来ないと云つてよいのであります。特殊投資法即ち團體投資法によつて投資すれば二圓三圓でも出来、又五拾錢でも一圓でも

出来ないことはいないのであります。

零細なる少資金、成金とか資本家とか謂はれる人々の一日の自働車代にも及ばない僅かの資本を巧みに有利に運用して、現に三割四割乃至二十割三十割と云ふ大利益を得て居るものは、單に私一人のみでなく、廣い世間には幾らもあります。僅か百圓か二百圓の端た資本を以て四五年間に五萬十萬と云ふ富を積んで一廉の資本家になつて益々投資界に活躍して居るものもあれば、眞に赤手空拳と云ふべき程に無資本者であつたものが二三拾圓の金を拵へ、其れを資本として投資を行ひ、二三年の中に四五拾萬圓の巨富を蓄積し、今では成金の仲間入をして世人羨望の境遇となり、物價騰貴や生活難の風は何處を吹くかと云つた風に納まつて居る人もあり、官公吏、會社員、銀行員、労働者にして矢張り五十か百かの端た資本を巧みに運用し、成金とまでは行かなくても兎に角五千や一萬の金を儲け住宅を建てたり、一流會社の株主となつたり、

銀行預金部のお得意様となつたり、將來有望な土地家屋を買ひ込んで相應の地主家作
持ちとなつて居るものも世には随分尠くないのであります。

世間既に幾多の實例があります、私自身も其一實例の中でありますが、投資物と資
金運用の方法さへ多少研究して掛れば、資金などは必ずしも多きを要しません。多
ければ是れに越したことはないが、少なければ少なくとも少ないなりに有利な投資が出
來ます。投資上の利益と云ふものは元來資金の大小によつて決定せらるゝのではなく
て投資物と資金の運用如何にあります。即ち投資物件の性質の如何と資金運用の巧拙
如何であります。故に百圓乃至五百圓位の小資本でも有利確實なる投資物に投資し、
其れを巧みに運用すれば、二十割三十割の利益を收得し、四五年間に數萬圓の大資本
に膨脹せしめることも出來れば、五萬十萬の可なり大きい資本でも、投資物が有利で
なかつたり確實でなかつたりすれば年五分一割の利益も收得することが出來ないのみ

でなく、全然利益の無いこともあり、或は元も子も無くして仕舞ふと云ふ詰らない破
目に陥ることもありまして、投資上の利益、資本の膨脹と云ふことが、資本の大小多
寡でなく投資物と資金運用の巧拙如何にあることは世間幾多の事實によつて明白に立
證されて居ります。故に讀者諸君は資金の大小多寡と云ふことよりも資金の運用が第
一であると云ふことを先づ第一に考へなければならぬのであります。是れを基礎と
すれば以下私か述べる所の投資法が、小收入者に取りて如何に適當なる投資法である
か、如何に零細なる資金によりて大なる利益を占むることが出来るか、而して其の方
法が如何に簡單であり容易であり、其結果が如何に確實有利であるかも了解されるの
であります。私は斷言して置きます。投資によつて財産を作り資本を膨脹せしめて資
本家となり金力者たらんとしても、先づ第一に資金の大小多寡と云ふことを腦裡に置
いて掛かるやうでは、即ち大資本でなければ大なる利益は得られない急速なる膨脹は

期せられない資本家財産家金力者となることは出来ないといふやうな考へであつたら、其人は到底資本家財産家金力者となり得ないのみでなく、縦ひ大資本を以て投資を行つても有利なる投資を行ふことは到底出来ないといふて過りはないのであります。是れは結局貯金と云ふものが、來月から爲ようと來年から實行しようと思つたり、纏つた支出には節約を加へるが日常の五錢拾錢の少支出には何等の節約も加へないといふやうでは到底幾年経つても貯金は出来るものでないのが事實であると同様であります。

元來投資の面白い所妙味の有る所は大資本を以て大利益を得ると云ふ事よりも、比較的小資本を以て比較的大なる利益を收得する所にあります。百萬圓の大資金を投じて年一割の利益を得るよりも、百圓の資金を以て年三割四割五割乃至二十割三十割と云ふ大なる利益を收得する所に存して居るものであります。

九 二種の株券利殖法

投機的利殖と非投機的利殖

先づ第一の投資法として有價證券の中の株券の利殖法を述べます。株券利殖と云ふのは所謂株式投資のことでありますが、併し株式投資即ち株券の利殖にも二様の投資法があります。即ち一は投機賣買であつて他の一つは非投機利殖のものであります。株式買収投資であります。前者即ち投機賣買は種々の原因によつて起る株式の市價變動の機に乗じて賣買し、其間に生ずる値段の差額を利益として收得するもので、今日株式取引所に於て行はれて居るものは九分九厘まで此投機賣買であります。即ち株式其物の所有者となつて其株式を發行した會社の利益配當及び株主たることによつて得る特殊利益を目的とするものでなくて、市場に於ける株式の相場の高騰騰落に乗じ安く

買つて高く賣り其価値即ち買値と賣値との差額を收むるを最後の目的とするものであります。然るに後者即ち非投機的の株式買収投資は有利有望な株式を買入れ、其株券を發行したる會社の株主となり、持株に對する利益配當や其他其會社の株主たることによつて得る特殊の權利々益を最後の目的とするものであります。故に之を解り易く言へば投機的賣買投資は株式を賣つたり買つたりして儲けるのが目的であり、非投機的買収投資は株を買入れて持株を漸次多くし大株主となると云ふのが目的であります。

これをモ少し詳しく説明すれば、投機買入は、例へば日本郵船株を今日一株百五十圓で百株買ひ、明日何等かの原因で五十圓奔騰して二百圓となつた時に賣り、或は東株(東京株式取引所株)を一株百七十七圓で前場に百株買ひ其日の後場で百九十五圓に騰貴したら其時に賣放し、或は又一方には買ひ他方には賣ると云ふ手段を取つて何方

に轉んでも大きな損をしないと云ふやうな遣り方をして株式の騰落を利用し利益を收得するものであり、非投機株式買収投資は之れに反して現在有利であつて將來も亦有利有望なる會社の株券を買入れ、初めは五株十株の少數であつても毎月なり月何回なり年に何回なり資金の許す範圍で新たに株券を買ひ足し、五十株百株千株と云ふやうに、漸次買持株を多くし、其株券を發行した會社の利益の配當並に株主と云ふ理由によつて其會社より受くる特殊の權利々益例へば新株募集の際に於ける優先權であるとか、其會社の手によつて經營せらるゝ或種の事業より受くる優待であるとか、或は堅實なる其會社の株主たることによりて受くる社會的信用及び其信用より得る各種の實際的利益即ち新會社が創立される時に發起人とか賛成人とか云ふものに推選されて有利に其新會社の株主たることを得るとか、其他其等の社會的地位信用によつて得る種々の實際的利益を得て、一面其會社に於ける猶大なる株主となり、又一般的資本家と

投機的利殖と非投機的利殖の優劣
なると云ふ遣り方があります。

一〇 投機的利殖と非投機的利殖の優劣

然らば以上二種の株券利殖の長短優劣は何うであるかと申しますと、何れも長所があると共に短所もあり、優つた點があると同時に劣つた點もありまして、何れを優れりとし何れを劣れりとする譯には参りません。併し投資法として小資本の急速なる膨脹策上の運用法としては二投資法何れも他に類のない迅速優秀なる方法であります。諸君参考の爲め以上株券利殖法の二種類について其長短優劣を示せば、投機買入は既に前條に述べました通り、市場に於ける株式價格の高低騰落と云ふ機會に乘じ、安く買つたものを高く賣り、以て其間に生ずる値鞘即ち買値と賣値との差額を利得するものであります。故に、此投資法の長所としては第一に資金の固定しない事でありま

す、即ち永く固定させず、短期間に同一資本を何回も繰返して運用することが出来る點にあります。第二は豫定通りに行けば小資金でも年數十割數百割の莫大なる利益を收得することが出来、而も其利益の大なる事に於ては凡ゆる投資法中遙かに群を抜けるもので、一夜にして百萬金を得ることも出来れば、僅々一二年間に數千萬圓の巨大なる利益を收得し、一躍して大金となり大富豪となり大金力者となることも出来る。と云ふ點にあります。處が其處が又短所の存する所で、第一利益が定期的でなく定期的ではありません、即ち時に一舉莫大なる利益を得ることもあれば五分にも當らぬ微かな利益であることもあります。第一回の投資に千圓の利益があつたから第二回の投資にも矢張り千圓の利益があるかと云へば必ずしも然う云ふ譯に行かない。今月は五百圓の利益があつたから來月も矢張り同額の利益を收得することが出来るかと云へば必ずしも然うと定つたものではありません。第一回の投資には千圓の利益があつても第

投機的利殖と非投機的利殖の優劣

二回の投資には五百圓しか利益のないこともあります。又三百圓、二百圓、百圓、五十圓と云ふ風に比較にならぬ程の利益である場合もあります。又縦ひ今月五百圓儲けても来月は二百圓しか利益のないこともあります。或は一萬圓、二萬圓と云ふ數倍數十倍の大利益を收得することもあり、或は第一回の投資には利益があつたが第二回の投資には利益がなくて元の木阿彌であつたり、第三回目には却つて損失を招いたりすることなどかあると云ふ風に、收得する利益なるものゝ金額が一定して居らず、毎日なり毎月なり必ず定つて入ると云ふことがなく、亂調的であり不定的であります。第二の短所としては危険を免かれないと云ふ點にあります。株式の投機賣買は凡て過去現在に於ける、及未來に亘る諸種の材料によつて推理判斷し、其れによつて行ふものでありますから、時に或は誤つた推理判斷を下すことがあります。多年斯界の空氣を吸ひ其れで飯を食つて居るごんな老巧者でも、時に推理判斷が正鵠を失ふことがあります。

ます。即ち如何なる千里眼的人物でも目當外れ見込外れと云ふことがあることを免かれません、然う云ふ場合には見込み外れ推理判斷の誤りの程度によつて多大の損失を招いたり、或は利益の損失どころか元も子も無くして仕舞はなければならぬ破目に陥り、株式投機賣買によつて大いに利益を得て資本の膨脹を圖らんとする目的企圖が全然裏を行き株式の投機賣買によつて却つて多大の損失を招致し不測の負債を作ると云ふ意外なる結果となることもあります。第三の短所としては精神を激勞することにあります。何事にも精神を勞しないでよいものはありませんが、此株式投機賣買は眞に分秒を争ふ金儲法であり慎重の上にも慎重なる推理判斷を下さなければ利益を收得することが出来ないのみでなく元も子も無くした上に多大の負債を作る破目に陥るものであつて、而も其成敗が分秒の間に決せられて其間如何なる手段方法を講ずる餘地もないものであります。故に、買つた株賣つた株が騰貴るか下落るか云ふことに

いては非常に頭腦を悩ますのであります。而も其頭腦を悩ますことは是れに經驗の無い人には到底想像も及ばない程でありまして、香氣に構へ込んで騰貴しようとして下落しようとするやうにしかならぬと云つた風に靜かに形勢を觀望して居ることの出来るものは殆んど絶無と云つてよいのであります。兎に角騰貴するか下落するかによつて自分の運命が決せられるのであります、一株について一圓騰貴ると下落るとは一株の頭では僅か一圓ですが、これが百株では百圓であり、千株では千圓であり、一萬株では一萬圓であります。又拾圓とか二拾圓とかの騰落となれば百株では千圓乃至二千圓、千株では一萬圓乃至二萬圓、一萬株となれば拾萬圓乃至二拾萬圓の相違となり、是れ丈の金額が利益となるか損失となるかの分るのでありますから、凡て投機買入を行ふものゝ心配は他人の想像も及ばないと云ふのは決して無理でもなければ嘘でもありません。自分の投下した資本が死ぬか生るか、投資の目的が達せらるゝか達せられない

いか、利益を得るか損失を招くか、成敗如何について精神を勞しないやうでは、土臺其人は投資を輕視して居る人でなければ何の爲めに株式の投機買入に投資して居るのが無意義無勘定の人であるか、但しは常識を脱線した白痴か瘋癲であると云つても過言ではないのであります。株式の投機買入なるものには、他の投資に見ることの出来ない大特長があります、其方面には斯様な短所缺點が伴つて居るのであります。

然らば非投機的株式利殖即ち株券買入投資は何うであるかと申しますと、是れにも矢張り長所があると共に短所あることを免かれませんが、即ち第一の長所としては安全確實で危険のないことであります。元來目的が有利有望なる會社の株を買ひ其會社の永久的株主となり、資金の許す範圍に於て漸次株を買ひ殖して行くこと云ふ方針であります。故に、市場に於ける騰落が何うでありましても、其んな事に神經を悩ましたり或は損害を受けたりすることがありません。勿論株の市價變動と云ふものは何等の原

因なくして無鐵砲に騰貴したり下落したりするものではなく、會社の實質其もの變
 化によつて騰落することが多いのであります。故に、若し會社の營業が不振に陥つた
 り有力なる競争者が顯はれて今迄通りの利益を見ることが出来なかつたり、多大の缺
 損を生じたり、其他會社の實質の低下するやうな原因によつて株の市價が下落した場
 合は全然無關係ではあり得ないのですが、堅實な會社であれば急に營業不振に陥つた
 り其他右様の事の爲めに株の市價が暴落するなどの事は滅多に有るものではありませ
 ん。縦ひ一時何等かの風説其他薄弱なる一時的理由の爲めに株の市價が下落しまして
 も、會社の實質其物にさへ低下的變化の事實がない限りは株主の利益に累を及ぼすも
 のではありません。随つて元も子も無くするやうな破目は其會社が破産しない限り絶
 對に無いのであります。第一の長所としましては収益が定期的であり利益金額が一定
 的であることであります。即ち毎年一定した利益のあることでもあります。第三の長所

としては精神を過激に使用する必要のないことでもあります。第四の長所としては持株
 に對して利益があるのみでなく、株主たることによつて種々の特權と其れに伴ふ利益
 を得る利益あることでもあります。第五の長所としては資本は遞増的に安全確實に膨脹
 増大することであり、第六の長所としては社會的信用を得ること及び其れより得る種
 々の實際的利益であります。先づ雜と是れ丈の長所があります。短所としては投機
 的賣買の如く短期間に莫大なる利益を得ることの出来ないことであり、随つて資本の
 膨脹速度が投機的投資の如く迅速ならざることであり、同一資本を何回も繰返して轉
 用し得ないことでもあります。然しこれは投機的投資に比較しての短所でありまして、
 他の事業投資に比較すれば決して缺點でも短所でもないものであるのみでなく、寧ろ優
 秀なる特色として特筆すべきものであります。

斯くの如く投機的株式投資と非投機的株式投資とは各長短がありまして何れを優

小収入者株券利殖の容易なる方法

り何れを劣れりとする譯には參らないのでありますが、然らば少収入者の投資法としては、何れが安全確實であり、而も有利有益であり、而も萬人向で何人にも容易に簡単に出来るかと云ふ問題になりますと、其れは何うしても非投機的投資を擧げなければなりません。

一一 少収入者株券利殖の容易なる方法

處が諸君の中には斯ふ云ふ事を言ふ人が有るかも知れませんが「成程、君の説く所は能く解つた、株式投資でも株主となることを目的とする買収専門投資ならば危険もなく安全確實で利益も一定的であり定額であり種々の副利益を伴ふものであり精神も激勞せず方法も簡單容易であるから、少収入者の投資法としては最も適當したものであると云ふのであらう。然し今日有望有利なる會社の株は百圓拂込のものでも二百圓

乃至三百圓、甚だしきは四五百圓のものもあるではないか、又額面百圓拂込五拾圓のものでも百圓乃至百五十圓、額面五拾圓拂込拾二圓五拾錢のものでも七八拾圓乃至百圓の市價を呼んで居るではないか、然るに此高價な株式に投資するとなれば一株買つても百圓以上の資金がなくてはならぬ、十株買へば千圓、五十株買へば五千圓を要し、百株買へば一萬圓の資本がなくてはならぬではないか、而も月收百圓以下の少収入者が投資をするにすれば一ヶ月乃至二三ヶ月分の収入全部を以てしても、有望な株ならば一株を買ふことも不可能ではないか。然り正に確かに其通りであります。此の困難あるが爲めに今日迄月收百圓以下の少収入者が株式に投資すると云ふことは理論上に於ては可能であつても實際に於ては不可能であるとして、少収入者にして株式投資を行ふものが尠なかつたのであります。否現在に於ても然う云ふ考へから月々百圓以下の収入で株式投資などは思ひも寄らぬ事だと思ひ諦めて居る人が尠くないやうで

小収入者株券利殖の容易なる方法

あります。中には百圓以下の月收で株式投資を行ふものがありますが、然う云ふ人は多く一攫萬金の夢を短時日に實現せんと無鐵砲な投機賣買を遣つて居ります。而して一度で綺麗に元も子も無くして剩に負債までも拵へたり、或は後續資金が無いために今一息と云ふ所で失敗したりする人が多のであります。然う云ふ計算、然う云ふ投資法、然う云ふ事實から推せば、月々百圓以下の収入で株式に投資することは到底不可能である、縦し絶對不可能でないにしても成功することは九分九厘まで覺束ないといふ結論に到らざるを得ないのであります。

併し諸君、諸君にして若し然う云ふ考へを有つて居たら其れは極めて偏狹な投資觀であります。株式投資と云ふものを餘りに單純單調に解釋して居るものであつて未だ株式投資法の總てを知らないものであります。株式投資の方法は決して諸君が解して居るやうに單一なものではありません。其手段方法はいろくありまして、困難を容

易に、複雑を簡單に、少資本を以て大資本に運用する手段方法等が幾らもあります。随つて百圓以下の月收者でも、必ずしも其一月月の収入全部を以てしなくても、二三ヶ月分を注ぎ込まなくても、又借金手段に依らなくても、其月收の何分の一かを以てすれば、或は全然定収入に手をつけずして優に二三ヶ月分乃至一年分の収入全部を以てするのと同様の投資の出来る極めて容易なる少収入者の株式投機賣買法及買收投資法があります。

一一一 團體利殖法

然らば其容易なる方法は何であるかと申しますと、即ち團體利殖法であります。即ち利殖上の便宜上一つの團體を組織して投資する方法であります。具體的に云へば、茲に甲乙丙丁の四人があつて何れも月收百圓以下の人達であるとしします。而して此四

人が各單獨で非投機的株式投資即ち株主たるを目的とする株券買収投資を行ふとすれば、時價百圓のものを一株買ふにしましても一箇月の全収入又は夫れ以上を要するのではありません。然しながら如何なる人でも生活費と云ふものが要ります。即ち衣食住其他生活上に必要な一切の費用であります。是れ丈は如何なる事情が有りましても絶対に缺くべからざる費用でありまして、家族が多ければ多い丈け生活費を多額に要することは申す迄もないことでもあります。其處で假りに月収を百圓として生活費に八拾圓乃至九拾圓を要し、或場合には拾圓乃至二拾圓の臨時支出をすることがあつて、月収全額を以てしても猶不足するやうであれば、投資に運用し得る金は僅かに拾圓乃至二拾圓であります。若し臨時支出に二拾圓以上を要した月は投資資金と云ふものは一圓一文もないことになります。假りに臨時費の支出がなく毎月拾圓なり二拾圓なりは投資資金として流用し得るものとしましても、時價百圓の株を一株を買ひ得る金額に

纏めるには月二拾圓づゝにしても五箇月を要し、拾圓づゝにすれば拾箇月を要するものであります。若し夫れ五圓内外であるとすれば殆んど二箇年に近い日子を費さなければならぬのであります。斯くの如く百圓以下の月収者が「生活費の餘剰を以て單獨に投資を行はんとすれば、五圓内外より二拾圓位までの剩餘金では時價百圓の株を一株買ふにも五ヶ月乃至二箇年の長時日を費さなければならぬのであります。随つて此調子で行けば百圓の株十株の持主とならんとするには四年二箇月乃至二十箇年かゝらなければならぬ勘定になります。若し夫れ百株を所有せんとすれば其十倍の年月即ち四十一年八箇月乃至二百年間かゝらなければならぬのであります。僅か百圓の株を百株買収するのに四十年乃至二百年と云ふペラポーな長時日を要するやうでは到底面白い投資法でないのみでなく、有利迅速なる投資法と稱することは勿論出来ません。實際百株の所有者となるのに其れ程永い年月を要するものならば、また他に迅

團體利殖法

速にして有利な單獨投資法が幾らもあります。故に斯う云ふ遣り方をする位なら一錢二錢の零細な金を郵便貯金又は銀行預金として蓄積し行く所謂勤儉貯蓄と大差なく殆んど投資と云ふ丈けの價値のない投資と謂はなければならぬのであります。

敢て大資本でなくても五千圓とか壹萬圓とかの資本を以てかゝれば五拾株百株は一度に買へる。月々五圓乃至二拾圓位の生活剩餘金を積み立て、百圓株を百株買ふに四十年乃至二百年と云ふ長年月を要するに比較すれば、殆んど比較になりません。少收入者が資本の威力金力の偉大と云ふことには日々痛切に感じながら自分自から小資金を運用して資本家となり金力者とならんとするものが實際に於て尠ないと云ふのは、結局斯う云ふ點に思ひ到つて落膽し、他に相當の資本を以て投資すると同様の投資法はないかを研究しないからであります。然しながら苦心努力多くして効果の遅々たる單獨投資に代ふるに苦心努力少くして効果の迅速著大なる團體投資法を以てすれば拾

團體利殖法

年を費さずして百株二百株乃至何千株の所有者となり、年々莫大なる利益を收得し、立派に資本家となり金力者となるのであります。

即ち各人が各個に自分の小資金のみを以てせず、數人乃至數十人を以て投資團體を組織し、團體員全部の小資金を合して一個の大資本となし、其れを以て投資を行ふのであります。前記甲乙丙丁の場合を以てすれば、甲乙丙丁が單獨に投資することを爲さず、甲乙丙丁四人を團體員とする團體を組織し、毎月各二拾五圓づゝ出資し其合計金百圓と云ふ資本を以て時價百圓の株一株づゝ買入れるのであります。時價百五拾圓の株であれば三ヶ月に二株を買入れることが出来ます、二百圓のものにしても二箇月にして一株を買ふことが出来ます。之れを各人が各自に投資するに比較して見たら何うです。毎月二拾五圓づゝ蓄めても百圓のものを一株買ふには四箇月を要し、百五十圓の株ならば六箇月即ち半箇年を要し、二百圓の株ならば八箇月の時日を要するで

はありませんか。然るに團體組織として四人が毎月二拾五圓づゝ出資をすれば前記の如く百圓の株ならば毎月一株づゝ買入れることが出来、百五十圓のものならば一箇月半で買入れることが出来、二百圓の株にしても僅か二箇月にして一株を買ふことが出来るではありませんか。等しく時價百圓乃至二百圓の株一株を買入れるに一人で遣れば四箇月乃至八箇月、團體で遣れば一箇月乃至二箇月、若し夫れ團體投資に單獨投資で一株を買入れるに要する時日の四箇月乃至八箇月を假さば百圓のものならば四株乃至八株、二百圓のものならば二株乃至四株を買入れることが出来るではありませんか。此邊を比較對照して見たら單獨投資よりも如何に團體投資が有利で資本の急速なる膨脹を圖るに有効であるかと分りませう。

一三 利殖團體組織の方法

其處で團體組織の方法であります、是れは別に困難なことでも面倒なことでもなく、極く簡單容易なことでありまして、友人知己親戚と云ふやうなものを團員として組織すれば宜いのであります。或は同じ所に勤務する同僚を語つて組織するも適當な方法であります。即ち官公吏會社員であれば五人なり十人なりの同僚を語つて團體を組織すれば、同じ所に勤めて居るのであるから、何かと協議するにしましても至極便利であります。然し團體を組織するに當りましては團員はすべて確實に出資し得るものでなくてはなりません。若し五人なり十人なりの中で一箇月にせよ二箇月にせよ出資を怠るものがあれば一定の資金に不足を生じますので、豫定の投資を行ふことが出来ないうことになり、局り豫定通り有利な投資が出来ないことなるのであります。故に團員とするものは必ず確實に出資するものゝみであることが第一の條件とならなければなりません。

然しながら團體規約の如何によりては、多少不確實と思はれるものでも確實に出資せしむることが出来ます。之れに反して確實間違なしと信せらるゝ人でも規約の如何によりては不確實ならしむるに至るものであります。故に、團體を組織するに當つては規約を嚴密にして、團員をして毎月如何なる事情があつても必ず間違なく出資せしむる方法を採らなければなりません。其規約の骨子とする所は、

一、同じ所に勤務して居る同僚のみを以て組織する場合は、毎月の一人の出資額を何程と限定し、月給當日に集金するやうにすること。

一、或は所屬上級者に依託して月給の中より天引に引去るやうにすること。

一、若し團員全部が已むを得ない事情と認めない理由によつて出資を怠つた場合は團員たることを除名し、且つ今迄出して居る資金は沒收して返還しないこと。

一、但し斯う云ふ場合、今迄出した資金が一株の値段に相當して居るときは、團員

全部に一株づつ分配し得る株數に達した際に株券なり現金なりで拂戻しても宜い。

一、然し株券を以て拂戻しをするのは拂戻を受ける方では有利であるが團體の方では現金で拂戻しをした方が有利であります。故に、團體の利益擁護の爲め現金を以て元金丈の拂戻しをするやうにした方が、現在團員の結合を益々鞏固にする必要上から云つても有利であります。

一、買入れた株券の保管は確實なる保管法を講ずること。即ち銀行又は貯金局等に預け、團員全部の承諾なくしては團員中の何人でも自由に引出すことの出來ないやうにして置くことが肝要であります。

一、買入れた株券より生ずる利益即ち會社より支拂を受ける配當は銀行の當座預金なり郵便貯金なりに預け置き、株券一枚を買入れ得る金額に達したら其れを引出して株券を買入れるやうにすることでありませぬ。

利殖團體組織の方法

一、團體組織年限を定めて置いてても可い、即ち一箇年とか二箇年とか、最初より年限を定め、其年限内は何んな事があつても脱退するを許さぬ、脱退すれば制裁として失権者と認めて既出資金全部を没収する位に最重にして置くことであります。

一、若し團員中其規定年限内に辭職、轉任(遠くに)等の事があつても、矢張り確實に出資を履行しなければならぬことにして置くことであります。

一、團員の出資を確實ならしむる爲めに保證人を立てる規約を設けても可いが、是れは必ずしも必要なことではありません。

一、同僚のみを以て團體を組織しない場合、即ち職業、勤務先等を異にした友人知己親戚などによつて團體を組織する場合も矢張り右に述べた所に準じて規約を設けることが必要であります。

右様の規約を設けることが必要であると云ふと、諸君の中には、其麼規約だとか規

則とかを設けると云ふやうなことでは頗る複雑面倒ではないかと云ふ人があるかも知れませんが、苟くも親子兄弟でないものが寄り集つて團體を組織し、其れによつて投資を行はふと云ふ以上は、是れ位の規約を設けるのは當然の事でありませう。親子兄弟の間でさへも斯う云ふ事には嚴格な規約を設けて置かなければ兎角怠慢に流れ易いものであります。而して右様の規約を設けるのは一見複雑面倒で團體投資と云ふものが甚だ危険なものやうに思はれますが、其團員となるものは、各人の出資額は少くても、團體的集合資力によつて迅速なる富の膨脹を圖らんとする人々のみであります。故に、途中で脱退して單獨投資に変更するなどの愚を敢てするやうなことはありません。のみならず規約を成るべく嚴重にして置けば、一旦團員となつた以上は如何なる遺算段をしても出資しなければ、他の團員に多大の迷惑をかけ不利益を與ふるのみでなく、除名處分でもされて今迄出した資金を没収されるやうなことがあつては、此

蜂取らざるころでなく多大の損失を招かねばならないのでありますから、一旦團員となつた以上は人情としても決して出資を怠るなどのことはないのであります。而して團員が五人であつた場合は、積極的に規約履行の必要あるのは買入株が五株となる迄の事であり、買入株が五株となつて團員が各其會社の株券を一枚づつ所有し、兎に角株主たる資格を有することになりますと、團員は團體投資の面白味と有利なことが事實によつて證明される爲めに、自ら如何なる工夫をしてでも出資を怠らないうやうになるのもであります。念々斯う云ふ時期にまで達すれば規約などは無くても約定は完全に遵守され履行され、團體の結合は益々鞏固となり、兎に角今迄無資産で株券一枚も有つて居なかつたものが急に一枚の株券が手に入り、株主たる資格が出来て其會社の株主總會には大手を振つて出席することが出来、年々何割かの利益配當をされるやうになつた時の心持は株を持たないものゝ想像も及ばない嬉しさと樂み

と誇りとが生ずるものであります。此の嬉しさと樂みと誇りととは猶以上の株主たるんとする努力奮起を爲さしむる唯一の原動力でありまして、出資額を従来よりも一層多くしても持株数を早く多くしようと云ふ心になります。團員に斯う云ふ心が生ずれば團體は金城鐵壁的に鞏固なる結合體となるのみでなく、團員は晝夜兼行の内職をしても必要的努力を以て約定の出資をしようと云ふ風になるのであります。

一四 團體利殖の有利

以上述べた所の方法によつて五人なり八人なり十人なりで團體を組織し、拾圓、貳拾圓、三拾圓の帯に短かく襷に長い小資を集合資本として投資すれば、團員の數と各人出資額とが多ければ多い程、より有利に運用し、より早く株主となる事が出来るのであります。團體投資の有利なる點は單に是れのみではありません。有望なる新

團體利殖の有利

設會社の株式募集又は既設會社の新株募集に應ずる上に於ても非常に有利であります。單獨投資では到底出來ないことが容易に出来るのであります。凡て會社の株式募集は其資本金全部を一般募集とするものではありませぬ。資本金百萬圓の會社であれば一株の額面百圓としまして壹萬株であり、額面五拾圓とすれば二萬株であります。然し會社は何んな會社でも發起人と云ふものがあり賛成人と云ふものがありまして、然う云ふ人々は資本家が資本家とまでは行かずとも相當の資力を有つた人で、是等の人々によつて一萬株なり一萬五千株なり全株數の大部分は天引に引受濟となり、残りの一萬株なり五千株なりが一般募集となるものであります。或は其れ以上發起人賛成人によつて引受け千株か二千株位の僅かな株數しか一般募集とされぬこともあります。既設會社では現在株主に於て全株を引受け一株も一般募集としないで濟むこともあります。又縱令現在株主で全株數を引受けないにしても大部分は矢張り現株主によ

つて引受け残つた僅かな株數丈けが一般募集となるものでありまして有望なる會社であればある丈け一般募集株數が少いと云ふのが通例であります。申込條件としては大抵十株以上と二十株以上と云ふ風に單位が制限されてあります。而して有望なる會社であるとすれば株式申込者が其れ丈け多數で、最近の新會社株式募集及既設會社の新株募集などの景況を見ると、娘一人に贅八人どころではなく、締切數日前又は數十年前に何倍何十倍の申込みがあり、最も有望な會社になると募集發表當日に満員となること云ふ風であります。宛で砂糖に蟻が集るやうな有様であります。斯くの如く今日の投資界は非常に盛況で、新設會社にせよ既設會社にせよ、株式募集は申込者が大競争をして居りまして、此傾向は今日ばかりでなく今後益々甚だしくなるばかりであります。即ち投資界に於ても優勝劣敗の生存競争が行はれて居るのであります。此の激烈なる競争をして居る投資界に少収入者が二三拾圓の資金を以て單獨に割込まう

團體利殖の有利

としても大人の角力に子供が飛入りをするやうなもので到底割り込んで行くことは出来るものでありません。假令一株や二株の申込みをする丈の金がありましても、既に募集規定中に申込單位が十株以上とか二十株以上とか制限されてある以上、到底申込み資格がありません。縦し又十株なり二十株なりの申込みを爲し得る丈の申込證據金がありましても、第一回拂込の時に満足に拂込みが出来なかつたり、或は全然其資金がなかつたりすれば、會社の方では失権者として處分をして仕舞ひます。若し然らう云ふ事になれば失権として跳ねられるのみでなく十株なり二十株の申込に對する申込證據金は沒收されて其れ丈け棒に振つて仕舞はなければならぬのであります。又縦し第一回拂込みをする丈の資金があるにしても、申込數が募集株數の何倍と云ふ數であれば、會社の方では按分比例によつて配分するのが慣例でありますから、會社が按分比例によつて配分した結果が三十株以下の申込者に對しては配分すべき株が

ないことになれば、申込證據金は返戻されても一株の株主たることも出来ないのではありません。

然るに五人なり十人なり十五人なりで團體を組織し、之れによつて各人の零細なる資金を集合資本として投資することになれば、團員五人として一人三拾圓づゝ出資すれば集合資金は百五拾圓でありますが故に、申込證據金が一株につき二圓であれば七拾五株の申込みをすることが出来ます。又團員十人として各人が三拾圓づゝ出資すれば合計三百圓でありますが故に百五十株の申込みを爲すことが出来、十五人を團員として各三拾圓づゝ出資をすれば合計四百五十圓でありますから二百二拾五株を申込みることが出来ます。若し夫れ五人を團員とするものが各自五拾圓づゝの出資をすれば二百五拾圓となりますから百二十五株を申込みことが出来、十人を團員として各自五拾圓づゝの出資をすれば合計五百圓でありますから二百五拾株と云ふ纏まつた株數の申

込みが出来、十五人乃至二十人を團員として五拾圓づゝの出資をすれば合計百五十圓乃至一千圓でありますから三百七十五株乃至五百株の申込みを爲すことが出来ます。又一人で百圓づゝ出資すれば五人で五百圓、十人で一千圓、十五人で千五百圓、二十人で二千圓の資金となり、五人で二百五十株、十人で五百株、十五人で七百五十株、二十人で千株の申込みを爲すことが出来、其結果五萬拾萬と云ふ資産を持つたものが一人で二百株三百株の申込みを爲すものと競争して優に勝を制することが出来るのであります。或は又五人なり十人なりが各五拾圓を出資して二百五拾圓乃至五百圓の集合資金となし、株式募集に應募する場合、二百五拾圓乃至五百圓では百二十五株乃至二百五十株の申込みを爲すことが出来るが、是れ位の申込株數では到底競争に勝利を得ることは出来ない、何うしても二百株乃至三百株の申込みをしなければならぬと云ふ時には、集合資金を百圓乃至百五十圓殖さなければなりません、此百圓乃至百五

十圓は五人なり十人なりに割り當てる一人の分擔額は團員五人では三拾圓であり、團員十人では僅かに二拾圓であります。即ち各人が二十圓なり三十圓なりを追加すればよいのであります。然るに單獨で投資をすれば百圓なり百五拾圓なりは一人で負擔しなければなりません。何萬何十萬と云ふ財産を有つた人ならば百圓百五拾圓を追加するのは何でもないのですが、月收百圓以下の少收入者にして百圓百五拾圓を一人で追加することは非常なる困難と云ふよりも寧ろ絶對に駄目と云つた方が適切であります。貯金があるか利息のつかない借金をすることが出来る者かでない限りは到底如何ともすることが出来ないであります。併し三十圓とか二拾圓とかになれば月給の中から前借をしても出来ませう、親しい人から一時融通して貰ふにしても一割二割の利子を拂つたり連帶保證人を立てた借用證書を入れたりして借金しなくても事情を話せば手軽に融通して貰ふことも出来ませう、又當分必要でない衣類道具を質

屋に持ち込んで拵へることも出来ませう。若し追加分増額が五圓とか拾圓とかであつたら尙更ら容易に調達することが出来ませう。團體投資の有利なる點は即ち此點に存するのであります。

處が茲に斯う云ふ疑問を發する人があるかも知れませんが、「團體を組織し二拾圓三拾圓の零細な金を合して一廉の集合資金とし株券買入投資、新株應募投資をすれば單獨で投資するよりも有利に運用が出来、早く株主となる事が出来、早く資本を膨脹増殖することが出来ると云ふが、五人が二拾圓づゝ出し合せて百圓としこれで毎月時價百圓の株を一株づゝ買入れても五人が一株づゝ分けるまでには五箇月を要するではないか、して見れば單獨で毎月二拾圓づゝ五箇月蓄めて一枚を買入れるのも結局する所同じ事ではないか、結局同じであるとするれば、新株應募ならば兎に角既に市場に賣買されて居る株券を買入れるには單獨で遣つた方が面倒が無くて樂ではないか、随つて

此點に於て團體投資の有利なることは認められないではないか」と。此疑問は團體投資は如何なる場合に於ても單獨投資よりも有利有益であることに徹底した了解を有つて居ない人の言ふ事であつて復た然う云ふ者が聞けば正に確かに然うであるやうに思はれますが、其れは決して同じではありません。即ち縦令團體投資に於て五人の團員が各自一株の所有者となるまでに五ヶ月を要し、單獨で五ヶ月間二拾圓づゝ蓄めて買ふのと同じ時日であるにしても、利益と云ふ點に於ては多大の相違があります。例へば其株が年三割配當の株でありましたら額面五拾圓にしましても年に拾五圓の配當を受けます、四割五割と云ふ配當をして居る株でありましたら年に二拾圓乃至二拾五圓の配當を受けます。而して大抵會社の配當は年二回で前期と後期の終りに於て行ふことになつて居ります(年何割配當と云ふのは二期の配當を合計した謂でありまして、例へば前期に二割の配當を爲し後期に三割の配當をしたとすれば即ち年五割の配當と

なり、前期に二割五分後期に同じく一割五分の配當をすれば即ち年三割の配當となるのであります。か、今假りに單獨投資と團體投資とを同時に思ひ立つたとして之れが前期決算前月であるとしませれば、團體投資では其月末乃至翌月一日に買入れることが出来ませんが、單獨投資では其れから五箇月後の六箇月目の一日でなくては買入れることが出来ません。そこで此相違が利益に何う關係するかと申しますと團體投資の方では前期決算の前月末又は決算月の一日に買入れたのでありますから記名のものであつても名義書替をする時日があります、随つて投資後一ヶ月位で既に前期の配當一割なり二割なりを受けることが出来、後期に於ても無論一割なり二割なりの配當を受けることが出来ませんが、單獨投資の方では思ひ立つた時から五箇月経たなければ買入れることが出来ないのでありますから、株券を手に入れるのは前期の配當の済んでから三箇月後であります。随つて後期の配當を受けるのみで前期の配當には預ることが出来

ないのであります。而して其結果は團體投資では前後二期の配當二割なり四割なりを受け額面百圓の株であつたら二拾圓なり四拾圓なりを收得しますが、單獨投資では後期の一割なり二割なりの配當即ち拾圓乃至二拾圓でありまして、團體投資の半額であります。既に一回の投資で單獨投資と團體投資とは利益に於て一割なり二割なりの相違があります。これだけ見ても團體投資と單獨投資との優劣が判明しますが、團體投資では單獨投資者が一回投資を行ふ間に五回の投資を行ふことが出来ますから、其内の一回のみが二期分の配當を受け他の四回は單獨投資と同様後期の配當のみ受けるとしましても、合計六割乃至十二割の利益を收得することが出来るのであります。諸君此點を能く比較對照して考へて御覽なさい、此場合單獨では五箇月に一回五圓の投資で利益は拾圓乃至二拾圓であるが、團體利殖では同じ五箇月間に五回五百圓を投資することが出来れば利益は六割乃至十二割即ち六十圓乃至百二拾圓でありまして、一人分の

利益は拾二圓乃至二拾四圓即ち單獨投資に比して五ヶ月間に二圓乃至四圓丈け多いの
 であります。或は五ヶ月間に僅か二圓乃至四圓多い丈けなら別に大した相違でもない
 ではないかと云ふ人がありませうが、二圓乃至四圓は新株應券の際の申込證據金の一
 株乃至二株分であります。若し夫れ其會社の新株募集があつて其二圓乃至四圓を以て
 一株乃至二株を多く申込んだとすれば何うであります。而して其新株が額面五拾圓で
 あつても第一回拂込を拾二圓五拾錢として拂込後直ちに市價百圓となりましたら何
 うであります。即ち二圓乃至四圓の爲めに入拾七圓五拾錢乃至百七拾五圓丈け多く儲
 けることが出来るてはありませんか。又二圓乃至四圓は十回で二拾圓乃至四拾圓とな
 り、二十回で四拾圓乃至八拾圓となります。此の二拾圓乃至八拾圓を以て新株申込證
 據金とすれば十株乃至四拾株の申込みを爲すことが出来るてはありませんか。而して
 前記の如く拂込後直ちに其株が市價百圓となりましたら其儲けは八百七拾五圓乃至三

千五百圓ではありませんか。諸君、之れでも團體投資が單獨投資に比して有利有益で
 ないと云ふことが出来ますか。此の明瞭なる優劣が分らないやうな人は一と十とは何
 れが多いか少ないかの分らない人でありまして、到底投資者たる資格の無い人である
 と謂はなければなりません。

其れからモ一つ團體投資が單獨投資よりも優つた有利な點があります。それは即ち
 資本調達が容易迅速であることであります。例へば茲に非常に有利有望なる會社の新
 株募集があつて應募者が頗る多く、十株や二十株の申込みでは到底一株のお鉢も廻り
 さうでない何うしても少くとも五十株乃至百株位の申込みをしなければならぬと云
 ふ場合、申込證據金を一株につき二圓とすれば五拾株では百圓であり百株では二百圓
 であります。若し之れが單獨でやるとすれば一人で百圓乃至二百圓の資金を調達しな
 ければなりません。團體投資であれば五人ならば一人二拾圓づゝ乃至四十圓づゝの

負擔であり、十人ならば一人拾圓乃至二拾圓宛であり、二十人ならば一人五圓乃至拾圓づゝの負擔であります。而して其資金が一週間に調達しなければならぬ場合は何うであります。果して何れが容易く早く出来ますか。常識で判断して見ても實際に遣つて見ても、一人で百圓乃至二百圓を一人で一週間に調達するよりも五人なり十人なり二十人なりで五圓なり拾圓なり二拾圓なり四拾圓なりづゝを分擔して拵へた方が容易で早いことが明かであります。若し夫れ一人で百圓乃至二百圓を一週間に調達し得るに左程の困難でないとするれば、五人ならば五百圓乃至一千圓十人ならば一千圓乃至二千圓二十人ならば二千圓乃至四千圓の資金を拵へることが出来ませう、而して二百五十株乃至二千株の申込みを爲すことが出来ませう。随つて一人で二百圓の資金を以て百株の申込みを爲すよりも五人で二百五十株乃至五百株、十人で五百株乃至一千株、二十人で一千株乃至二千株の申込みをする方が、總てに於て遙かに容易であり

遙かに有利であることが判明しませう。

それからモ一つ團體投資の有利な處は、投資せんとする株券の價值判定に誤りがな
いと云ふことであります。株券の價值判定と云へば即ち其株券を發行した會社が現在
に於て果して有利有望であり、將來に於ても果して有利有望であるか何うかの判定で
あります。一人で研究考案するよりも五人なり十人なり二十人なりで研究考案した
方が何うしても徹底的研究考案が出来ます。一人で研究したのは氣が付かないこと
も五人なり十人なりで研究すれば其中に氣の付くものがあり、一人では迷ふ事も五人
なり十人なりでやれば迷はない、一人では粗漏杜撰でも五人なり十人なりでは精密な
研究調査が出来ること云ふ風に、一人の研究よりも五人より十人なりで研究した方が總
てに於て徹底的で優つて居ります。

斯くの如く縦令資金が五圓、拾圓、二拾圓、三拾圓と云ふ殆んど資金と云ふ程の高

でもないものでも、五拾圓百圓乃至五百圓千圓と云ふ資本であるにしましても、五人なり八人なり十人なりが團體を組織して投資をするのと、單獨で投資をするのは、總てに於て多大の相違がありまして、資本運用の範圍に於ても、資本調達上の容易迅速と云ふ點に於ても、投資後の收益率の大なる事に於ても、投資物研究考案の徹底的にして誤りのない點に於ても、投資の好機會を逸しなないと云ふ點に於ても、團體投資の方が單獨投資よりも遙かに優つて居るのであります。

一五 團體利殖の有利なる立證的事實

單獨で利殖を行ふよりも團體を組織して資本を集合資本と爲して投資を行つた方が如何に有利であり有益であるかは、以上述べた所によりて充分に了解された事と思ひますが、團體を組織して投資を行ふと云ふことは、何も私の新發明でも新案でもあり

ません。現に幾多の投資團體が組織されて居りまして、單獨投資は舊式の投資法であつて投資界の生存競争に打勝つには何うしても團體投資でなくてはならないと云ふことを事實によつて證明して居るのであります。

即ち今日の會社組織なるものが純然たる投資の團體でありまして、合名會社と云ふも株式會社と云ふも會社組織上の形式に相違はありまして、投資團體たる實質に於ては少しも相違する所はありません。資本金一千萬圓の株式會社でも一人が一千萬圓の資本を投じたのでなくて何千人か何萬人かの人々の小資本を集合させたものであります。資本金一千萬圓拂込四分の一又は二分の一の會社ならば額面五十圓であれば株主が一株につき拾二圓五拾錢又は二拾五圓を出資したものであり、額面百圓であれば各株主が一株につき二拾五圓乃至五拾圓出資したもので、拂込済みでないものは資本金一千萬圓と云つても實際運用される資本金と云ふものは二百五拾萬圓乃至五百萬圓

であるが會社は資本金の四分の一乃至二分の一の二百五十萬圓乃至五百萬圓で數千萬圓數億萬圓の仕事をする事が出来るのであります。随つて各株主から云へば自分の出資した一株につき拾二圓五拾錢乃至五拾圓の小資金が數千萬圓乃至數億圓の仕事をして居るのと同じであります。諸君考へて御覽なさい、僅か拾二圓五拾錢乃至五拾圓の端々資本を以て數千萬圓乃至數億圓の仕事をする事が單獨で遣つて果して出来るか何うかを。諸君が如何に豪い人物であり如何に投資術に妙を得て居りましても、然う云ふ大藝當は鯨銜立ちしても到底絶對に出来る藝當ではありませんまい。單獨で一千万圓の資本で投資をしようとするれば一人で一千万圓の資本を投じなければなりません、株式會社にすれば一株の額面百圓とすれば十萬株、一人で一株づつ持つとすれば十萬人、一人の負擔出資額は僅か百圓でありまして、四分の一拂込みであれば一人が二拾五圓づつ出資すれば済みます、又二分の一拂込みにしても各人が五拾圓づつ出資

すれば宜いのであります。又額面五拾圓とすれば二十萬株、一人で一株づつ持つれば二十萬人、一人の負擔額は僅かに五拾圓、四分の一拂込みならば一人が拾貳圓五拾錢、二分の一拂込みにしても二拾五圓づつ出資をすれば宜いのであります。一人で一千万圓出資をするのと拾二圓五拾錢乃至五拾圓出資をするのと、果して何れが容易であり何れが困難でありますか。若し夫れ一千万圓の資本では充分に活動が出来ない、二千万圓の資本にしなければならぬと云ふ場合、單獨ならば一人で一千万圓全額を背負はなければなりません、株式會社であれば各株主に對して第二回第三回第四回の拂込を要求し、一株について各人が拾二圓五拾錢乃至七拾五圓づつ出資をすれば宜いのであります、單獨で一千万圓出資したの同等或は其れ以上の有利有益な投資を行ふことか出来るのであります。合名會社にしても理は是れと同じで一人の負擔額が多い丈けの事でありませす。

團體利殖の有利なる立證的事實

而も最近個人が個人の資本で種々の經營をして居たもので合名組織又は株式組織に變更するものが段々多くなつたのは、結局單獨で遣るよりも團體で遣つた方が大資本を作ることが容易で有利なる活動が出来ると云ふことを痛切に感ずるやうになつたからであり、單獨經營では會社組織の經營と競争しても到底勝利を得ることが出来ない遂には敗北者となり落伍者となり自滅しなければならぬことが實際上に於て判明つて来たからであります。今度の戦争で成金王と謂はれ今に世界的富豪になるだらうと囑目されて居る久原秀之助氏が過般個人經營を變じて資本金一億圓の株式會社組織としたのは果して何の爲めでありませうか。又三井が最近一部の組織變更を行ひ、從來の合名組織を株式組織としたのは果して何の爲めでありませうか。其他有名なる實業家で個人經營を會社組織に變更した實例は随分澤山ありますが、是等の組織變更は果して何の爲めであり何の必要によつたものでありますか。即ち會社組織でなくては大本

を集中して大事業を經營することが出来ないからではありませうか。

此傾向は必ずしも日本のみに限りませぬ。歐米先進國では日本以上に盛んであります。殊に世界の資本國と謂はれて居る米國では最も盛んであります。會社組織でなくては殆んど何事も爲し得ないと云ふ有様であります。而も戦後は世界は擧げて經濟戦争となり投資の時代となるのであります。益々團體的勢力を應用した集合資本の運用と云ふことが必要になります。單獨よりも團體の方が總てに有利有力であることは常に投資上のみに限りませぬ、國際間の外交に於ても、戦争に於ても、貿易に於ても、宗教に於ても、教育、文藝、美術、其他萬事萬端に於て有利有力であります。今度の戦争で獨逸側が案外頑強であつたのは獨逸が埃洪、土、勃等を語つて中歐同盟を形成して居つて其團體力を以て聯合國に對抗したからであり、聯合國が開戦以來惡戰苦闘したにも拘はらず今日獨逸を屈伏せしむるまでに堅忍持久し得たのは英國の

團體利殖の有利なる立證的事實

みの力ではなく、佛國のみの力ではなく、伊國のみの力ではなく、將た米國のみの力ではなく、聯合各國が聯合同盟と云ふ團體組織となつて結合を堅くし、其團體力を以て對抗して來たからであります。是等現在に於ける幾多の顯著なる事實は、即ち投資をする上に於て單獨投資よりも團體投資の方が如何に有利有益であるかを證明して居るものでなく、果して何であります。

一六 資金調達の方法

其時代を知らないものは其時代に優越なる地位を獲得して優越なる生存生活をする資格がない。今日の時代に於て資本家となり財産家となり金力者たらんとするにも矢張り今日の時代を知り時代に適應した手段方法を以てしなければ到底成功するものではないのであります。故に私は今日の時代が資本萬能の時代であり、投資の世の中で

あり、資本運用の自由競争時代であることを力説し、諸君に小資本を有利に運用する方法として團體投資を勧むるのであります。然し私は決して諸君に直ちに株式會社を組織せよと云ふのではありません。縦ひ其慶事を言つて見た處で、苟くも一箇の株式會社を組織すると云ふことは、大小如何に拘はらず非常に困難な事でありまして、然う云ふ事に相當の知識と經驗と手腕と財力とが必要であります。故に、謂は出來ない相談をするやうなものであります。私は決して諸君に出來ないことを勧めたり強要したりするものではありません。諸君が調達し得る二十金、三十金乃至五十金、百金の些細なる資金を集合資本として有利有望なる既設會社の株券を買収し、或は既設會社の新株募集に應じ、或は新設會社の株式募集に應じて、小株主より段々大株主となれと云ふのであります。即ち世の有力者によつて設立されたる又設立される會社と云ふ大きな投資團體に出資者として割込むには單獨の力では不可能又は非常に困難であ

るから、割込みを容易にする爲めの手段として團體を組織し、其團體力を利用して割込めと云ふのであります。故に團體を組織すると云ふのは目的ではなくて猶以上大なる投資團體に割り込んで猶以上大なる利益を收得せんとする手段であります。

其處で團體利殖を行ふについての資金調達の方法でありますが、前記「資金の程度」に就て述べた際資金は一人何程と云ふ譯には行かないが多いに越した事はない、然し最低五圓以下では有利なる投資は出来ないと云つて置きましたが、事實五圓以下では後章に述べる債券投資ならば出来るが株券投資に於ては、絶対に不可能ではないが多數の團體員を要するか、或は多くの時日を要するか、何にしても有利迅速なる投資は出来ません。随つて資金は成べく多い方が有利に迅速に運用が出来ます。故に茲では五圓以上百圓以下の資金調達の方法について諸君が實行し得らるゝ方法を詳述しませう。

第一方法

先づ月收七拾圓のイロハニホと云至五人の會社員が投資團體を組織し、毎月三拾圓づゝ出資し、時價百四五十圓位の有利有望なる會社の株券を一株づゝ買入れて行くこと假定しまして扱て其五人は何うして毎月三拾圓の資金を拵へるか云ふと、第一の方法としては三拾圓を月給の中より天引し、残り五拾圓を以て生活費其他一切を支辨することでありませう。即ち天引貯金をすると同様に三拾圓を天引に引去り、遮二無二五拾圓で生活を立てゝ行くこと云ふ遣り方でありませうが、其れには第一に生活費の縮少節減を圖ると云ふ事が必要であります。一體日本人は永年の習慣とは云ひながら収入と支出との均衡が取れて居ない、収入に比して贅澤な生活をして居ります、百圓の月給取が三四十圓乃至五十圓の家賃を拂つたら、五六十圓の少収入者が二十圓以上の家に住つたら、衣食の方でも身分不相應のものを衣食して居ります、故に先づ此の衣食住方面から改革を斷行する必要があると云ふ必要があります。月々定つた収入以外積極的に增收を圖るより

も先づ現在の贅澤的生活を緊縮することが肝要であります。そこで今迄二拾圓三拾圓の家賃を拂つて居たら拾圓か拾五圓位の家に越します、然うすれば既に家賃から拾圓乃至拾五圓を捻出することが出来ます。残り半額の拾五圓は其他の費用を節約して捻出するのであります。即ち毎月衣類費として五圓宛を計上して居りましたら其内より二圓を削つて衣類費を三圓とし、衣類は他所行きの外は一切木綿物とします。次に毎月獣肉なり鳥肉なり魚肉なりを晝食夕食二回に使用して居たら其れを一回に減じ、代用としては廉價で營養量に富む野菜類を費用を掛けずに美味に調理して用ひ、或は日々の回数は同じでも分量を減じて他の安價なものを配合し肉類を減じても苦痛を感じないやうにします、家族の多少にもよりますが是れで確かに二三圓乃至四五圓を捻出することが出来ます。其れから主食物も内地米のみであつたら安價な臺灣米を半分混ぜるか外國米を七三乃至六四又は半々位に混ぜるかして節約すれば、是れでも二三

圓乃至五六圓位を捻出することが出来ます。それから交際費にも節約を加へて行けば毎月二三圓位捻出するのは雑作ないことであります。それから娯樂費にも大節減を加へ、贅澤品の買入を嚴禁し、器物等も安價で丈夫で實用的であれば外觀などは構はない主義に改め、入浴なども毎日入つて居たものは一週間に一回乃至二回とし、其他すべての方面に節約を加ふれば四五圓を捻出することは決して困難ではありません。以上の捻出額を合計して見ますと十五圓以上二十圓内外となります、之れを家賃節約の十五圓と合計すれば三十圓以上四十圓内外の金額となります。凡て生活を節約することは人々の實際に困難とする所でありますが、これは月収を矢張り七十圓なり百圓なりあるものと思ふから苦痛を感ずるのでありまして、動もすれば節約生活に破綻を生ずるのであります。故に斯う云ふ場合は今迄は七十圓なり百圓なりの月収であつたが、今迄の所が誠になつて五十圓なり七十圓なりの月給しか呉れない所に鞍替をした

のどと思つて掛からなければなりません。即ち實際に前月までは七十圓の月収があつたが今月からは五十圓しかない、先月迄は百圓であつたが今月からは七十圓しかないと思はなければ、節約生活が實際以上に苦しく思はれるものであらまして、然う思つて仕舞へば苦しいと思つても仕方のない事ですから諦めもし、矢張り其れ丈の金額で生活して行けるものであります。私の實際に徴しても住めば都の風が吹くで慣れて仕舞へば左程苦痛とも思はなくなりります。

第二方法

第二の方法としては、家賃に大節減を加へて二十圓以上の家賃を拂つて居たものは十四五圓位の家に引越し二十圓以下十五圓位の家賃を拂つて居たものは十圓から六七圓位の家に引越し、同時に衣食の方面其他の方面にも出来るだけ節約を加へ、而して

下女を雇つたと思つて其食費と給金を十五圓として計上します。斯うすれば一ヶ月三十圓位は優に捻出することが出来ます。下女の食費と給金を十五圓として計上するのには餘り多くないかと思ふ人があるかも知れませんが、物價及賃銀の騰貴した今日下女一人を雇入るれば十五圓は必ず費えます、給金も今日では四五圓位奮發しなければ来るものはありません。一般に女工が拂底して居ますから工場に通しても内職を働いても月の収入は十五圓以上になります、少し優待する會社工場に行けば二十圓以上は樂に稼げる世の中に、何を苦しんで二三圓位の安給金で而もコキ使はれて冷飯を食はされる下女などになる必要がありません。現に女中拂底小僧拂底は収入の少ない女中奉公をしたり小僧などになつて酷使されるよりも女工か内職をした方が収入が多くて樂だと云ふ處から、其方面に行くものが多いからであります。故に下女を雇入れるとすれば先づ月給は五圓と見て置かなければなりません。それに下女だからと云つて

毎日三度／＼冷飯に澤庵の尻緒ばかり食はせて置く譯には参りません、其塵事でもしたり一日で逃出して仕舞ひます、矢張り衣食も相當の事をして相當の待遇を與へて遣らなければなりません。今日の雇人被雇人の關係は昔のやうに主従的關係ではなくて經濟的關係であり、勞力の需用者と勞力の供給者との關係であり、權利義務の關係であります、随つて其れ位の待遇を與へると云ふのは寧ろ當然でありまして、其れ以下の待遇では虐待で奴隷扱ひするものであります。

第三方法

第二の方法としては副業によつて積極的に調達することであり、雑誌記者、新聞記者ならば二三の雑誌に原稿を書くとか書店と特約して少し安くても筆耕だと思つて單行本の原稿を書いたり編輯物をしたりしても月に二三十圓の収入は得られます。

官公吏とか會社員とかであつたら勤務の餘暇に内職をするのであります、妻君や弟妹のある人ならば其等のものにも矢張り内職を手傳はさせるか、手傳ひの出来ない内職であつたら女子供に出来るやうな内職をさせるのです。内職と云ふと内職などはと響く感ずる人がありますが、内職をしたからとて何も人格が下つたり他人から指彈されたりするやうなことはありません、内職を卑む人こそ反つて笑はれます。大學教授が旁著述をして其れより得た金を溜めて財産を作るとしたら何うであります。之れとても矢張り内職でありまして勤人の妻君がミシン掛けの内職をするとか、裏長屋の女房さんが封筒張やミシン掛けであるから卑しいのと云ふことは有るべきでない、官公吏たり會社員たるものが神聖なる職業であつたら内職も矢張り神聖なる職業であります、異なる處は正職と副職との相違のある丈けであります。投資上の資金を作らんが爲めに、又生活費の一部を得んが爲めに内職をするのは天下何人にも愧づる所なく恐るゝ所な

き正しき方法であり正常なる手段であります。内職などは外聞が悪いの體裁が良くな
いのと云つて卑しむやうでは、到底資本家となり財産を作つて金力者となる資格はあ
りません、何時迄経つても少収入者として、無資本者として、無財産者として、生
存競争上の弱者として、生涯成貧生活を送り物價の騰貴した場合のみでなく、一
生涯生活難に虐げられ苦しみ惱まなければならぬのであります。そこで内職によ
つて資金を調査せよと云つても、然らば何う云ふ内職を遣れば宜いか、一體内職には
何れ丈の種類の種類があり何う云ふ風のものがあるかと思ふ人もありませんが、内職を悉
く擧ぐれば何百種の多きに達しますが、最も確實で一日十錢以上三圓以下の賃銀を得
る内職は百二三十種あります。其内で男子大人の内職としては玩具竹細工（工賃一組
四十錢、一日三組、工賃一圓二十錢）があり、經木（工賃百枚一錢七厘、一日八千枚
一圓三十六錢）があり、經木細工結紐（工賃一萬本四十錢、一日三萬本一圓二十錢）が

あり、經木細工木スガ（工賃千枚五十五錢、一日四千枚一圓拾錢）があり、經木チツレ
ネガケ（工賃千二百本二十八錢、一日六千本一圓四十錢）があり、經木根掛削り（工賃千
枚二十五錢、一日八千枚一圓二十錢）があり、タボ留（工賃一個二厘、一日百五十個三
十錢）があり、中差細工（工賃百個十錢、一日四百個四十錢）があり、摘み細工（工賃一
個三錢より十錢、一日一圓）があり、襯衣卸附（工賃一ダース九錢、一日四ダース三十
六錢）があり、下駄の爪皮塗り（工賃一日六十錢）があり、爪皮張り（工賃一日六十錢）
があり、衛生都護護齒下駄（工賃一足十錢、一日二圓）があり、蒲團側縫（工賃一組八
十錢、一日一圓乃至一圓五十錢）があり、木版刷（工賃百枚一度刷四十錢二度刷八十錢
一日一圓二十錢）があり、バツキン製造（工賃千個二十五錢、一日五千五百個一圓四十
錢）があり、玩具人形（工賃百ダース並塗五圓五十錢、上塗七圓、一日五十錢）があり、
玩具汽車（工賃一個仕上十錢、一日一圓五十錢）、玩具馬足附け塗（工賃百ダース一圓

二十五銭、一日五六十銭)、同裝飾仕上(工賃百ダース一圓、一日五六十銭)があり、護
 謨櫛製造(工賃五厘より一銭五厘、一日七八十銭)があり、時計鎖製造(工賃一個仕上
 二十銭、一日一圓五六十銭)があり、古釘伸し(工賃一貫目二十銭、一日四五十銭)が
 あり、大工用墨壺製造(工賃一個四十五銭、原料拾五銭、一日五個一圓五十銭)があり
 墓口のダホ造り(工賃百個一錢五厘、一圓四五十銭)があり、空氣草履蕊の縁取(工賃百
 足十一銭、一日五六十銭)等があります。其れから女子大人の内職としては頗る多く、
 莫大小の糸繰り(工賃一貫二百目三十二銭、一日六七十銭)があり、手袋かゝり(工賃
 一ダース五銭、一日十銭)があり、下駄の爪皮縫ひ(工賃千足八十銭、一日千足八十銭)
 があり、下駄藤表編み(工賃一足上二十五銭下六銭、一日三足七十五銭)があり、下駄
 爪皮の紐附け(百足十四銭、一日二百足二十八銭)があり、刺繻(工賃一ダース五十銭
 一圓二十銭、一日一圓二十銭以上二圓)があり、足袋の甲馳かけ(工賃百個三十銭、一

日六十銭)があり、軍人肩章穴かがり(工賃百紐七十銭、一日四五十銭)、軍人肩章モ
 ル附け(工賃百組八十銭、一日四五十銭)、軍人肩章まつり(工賃百組四十五銭、一日三
 十五銭乃至四十五銭)、軍人肩章しつけ(工賃百組十一銭、一日三十五銭乃至四十五銭)
 軍人肩章星附け(工賃百組二十銭、一日三十五銭乃至四十五銭)、軍人肩章ぼたん附け
 (工賃百組十銭、一日四五十銭)、軍人襟章まつり(工賃百組四十五銭、一日四五十銭)
 があり、下駄鼠緒入の函張り(工賃百個三十銭、一日七十銭乃至一圓)があり、揚子入
 函張り(工賃百組二十銭、一日七十銭乃至一圓)があり、羽織紐の尻附け(工賃一細五
 厘より二銭、一日五六十銭乃至一圓)があり、專賣局納めの煙草函張り(工賃百個十一
 銭、一日七八十銭乃至一圓)があり、莫大小函貼り(工賃百個三十五銭、一日七十銭乃
 至一圓)があり、進物用小箱貼紙(工賃百個三十五銭、一日七十銭乃至一圓)があり、
 名刺入函貼り(工賃百個大十八銭小十五銭、一日三十銭乃至五十銭)があり、藥品入筒

資金調達の方法

貼り(工賃十五銭より二十五銭、一日三十銭乃至六七十銭)があり、羽子羽根切り(工賃百目二十銭、一日三十銭乃至四十四五銭)があり、輸出編物銀貨入(工賃一個四銭以上一日四五十銭)があり、同婦人用カラー(工賃一ダース十銭以上、一日六十銭乃至一圓)があり、同皿敷(工賃一ダース大三十銭小二十五銭、一日四五十銭)があり、同机掛け(工賃一枚二十五銭乃至三十銭、一日五六十銭)があり、根掛け造り(工賃一個三銭より五銭、一日七十銭乃至八十銭)があり、星印乙女帯(工賃一個六銭、一日四ダース二圓八十八銭)があり、鐘入スターバンド(工賃一個三銭五厘、一日五ダース二圓十銭)があり、おしめホルダー(工賃一個三銭、一日六ダース二圓十六銭)があり、玩具振ミス(工賃一ダース三厘より九銭、一日七八十銭)があり、玩具押笛造り(工賃百個一圓五十銭、一日四五十銭)があり、玩具伸縮仕上(工賃一ダース一銭三厘、一日五十二銭乃至六十銭)があり、玩具人形の頸附け(工賃百個二十銭、一日五六十銭)人

資金調達の方法

形の脚附け(工賃百個十銭、一日五六十銭)、人形の腕附け(工賃百個八銭、一日四五十銭)玩具起上小法師(工賃千個大一圓五十銭、中八十五銭、小五十五銭、一日七十銭乃至一圓)等があり、煙草入筒織り(工賃一個三銭、一日四五十銭)があり、打抜き鈕(工賃一貫目大八錢五厘小十六銭、一日六七十銭)があり、靴下かゝり(工賃一ダース五銭、一日二十銭)があり、其他一日二十五銭以上の工賃を得る内職は玩具伸縮附け、丸形の着物仕立、同ちやんくこ仕立、同神立仕立、同衣服着附け、同被布の仕立、玩具提灯、カルタ貼、シャツ鈕附け、下駄の爪皮塗り、同張り、蒲團の側縫砂糖紙袋張り、雑誌袋張り、和服裁縫、玩具漁車造り等があります。工賃二十五銭以下のものに至つては五六十種以上の多きこと算することが出来ます。而して十歳以上の子供にも出来て而も一日十銭以上の工賃を得るものは、紡績管製造もあり、洋燈の笠張りもあり、古釘伸しもあり、封筒張りもあり、シャツの鈕附けもあり、下駄鼻緒

の前坪縫でもあり、足袋甲馳ふくりん篋もあり、經木曲物造りもあり、人形の衣類一切の仕立もあり、煙草包紙の糊付けもあり、玩具の呼子造りもあり、玩具動物造りもあり、玩具の提灯造りもあり、玩具當て物造りもあり、羽子造り穴あけもあり、羽子羽根しぼりもあり、編物もあり、靴下かゝりもあります。

以上は現在東京に於ける内職であります。各地方には地方特殊の内職もあり、東京に於けるものと同じものもありまして、都會でなければ内職はないと云ふものではありません。地方に生活して居る人で東京の内職をしたいと云ふ人は東京の知人に依頼して取寄せることも出来ます。又東京府の慈善協會に照會すれば内職の種類、性質、工賃及び其等の内職請負者の住所氏名等も詳細に調査してありますから、親切に指導し便宜を圖つて呉れます。實費を送り下されば著者の方で調査報告します、又すべての便宜も取計らつて上げます。又地方生活者たる都會生活者たるを問はず、一坪

なり二坪なりの空地がありましたら養鶏、養兔、養犬等を遣つても勤務の片手間にする副業としては適當なもので相當に利益を收むることが出来ます。又近頃流行の鵝を飼つても月十圓や十五圓の収益はあります、これは別に飼養場などの設備を要しませんので養鶏、養兔、養犬等に比較すれば手軽に出来ます。それから人の氣附かないことで収益の多いのは狎の飼養であります。これも鵝と同様に飼養場の必要がなく、根氣よくいろいろの藝を仕込めば一匹五圓以上に賣れます、出来がよければ數十圓數百圓に賣買されることは珍らしくはありません。之れで成功して居るものは世間に幾らもあります、飼養法も簡單なもので小鳥の飼養などに比ぶれば半分の手数もかかりません。これからも一人の氣附かない有利有望なものは猫の飼養であります。猫の飼養は餘程の猫好きでない限りは現在やつて居りませんし、且つ猫に藝を仕込むと云ふことは香具師か何かでなければ遣りませんが、私の實驗によれば猫でも根氣よく藝

を仕込めば狎や犬と同様いろ／＼の藝を覚えて飼養者のみでなく人の一言一令によつて巧みに演藝します。大正六年の春、つい近所に英國産の雌猫と日本種の雄猫との間に出来た混血児に虎の子かと思まがふ程虎によく似たのが一匹出来ましたので、私は非常に面白い珍らしい猫の子だと思ひ物を食ふやうになつたら貰ふと云ふことにして約束して置きました處が、其家の都合で親猫も一緒に貰つて呉れないかと云ふことになりましたので、私は直ちに親子共に貰ひ、無事に育つやうに常に注意をして居りましたが、其中に乳放れをして物を食べるやうになりました、其處で私は不圖猫でも仕込めば藝を覚えるものか何うかと試験的にちん／＼する事を仕込んで見ましたが一週間には狎などが遣ると同じやうに完全なちん／＼をするやうになりました。私は益々興味を感じ鳴く事やお廻りやお忍びやお預けなどを仕込んで見ましたが、何れも一週間乃至十日間位で完全に覚え、私や家人の命するまゝに間違ひなく演藝するやうに

なり、來客などが非常に珍らしかつて試みにちん／＼やお廻りなどを演らせるの間違ひなく遣りますので、私の家に入出入する客は大抵虎公へのお土産として菓子なり魚獸肉などを持つて來て呉れるやうになりました。後には百圓出すから賣つて呉れないかと申込んで來た人が三人ありました、又香具師から三百圓位までならば出すからは非賣つて呉れと申込んで來ましたが、私は賣る爲めに猫を飼つたのでなく藝を仕込んだのでなかつたので、何れも拒絶しましたが、賣つたら百圓以上に賣れたのであります。而し残念ながら其猫は滿一年目に胃腸病に罹り、藥石効なくして斃れましたが、其後繼の白黒の斑猫に仕込んで見ました。然るに之れも矢張りちん／＼お廻りなどを覚え込んで盛んに演藝し、食物が欲しくなると必ず遣つて來て、命じなくてもちんちんやらお廻りやらを演りました。此れは恩人からの懇望によつて遣つてしまひました。斯う云ふ風に根氣よく仕込めば猫でも種々の藝當を覚えるものであります。今日

猫を飼つて居る人は澤山ありますが、まだ其邊にまで考へついて居ないやうでありますから、之れを營業的に遣れば破夫荒の新案で需用の多いことは明白であります。而して演藝の巧拙藝數の多少毛並の美醜、姿勢の如何とか云ふやうな點を標準として五圓、十圓、十五圓、二十圓と云ふ風に値をつけて賣れば、猫好きの多い日本のことでありますから、月々二十圓や三十圓を得ることは容易であります。

以上繰述しました通り、今日内職とか副業とか云ふものは數百種の多きを數へ得る程に多いのでありますから、其等の中より自己の職業、經驗、趣味、家庭の事情等を參考として選擇すれば月々拾圓以上二三拾圓を收得することは決して困難ではありません。前に掲げました内職の一日の工賃は一日十時間働くものとして熟練者と不熟練者上手と下手との銀賃を平均したものであります。故に、夜間三四時間と家族即ち妻君や子供などが暇々に遣る時間を合計六七時間とすれば、大人が一日十時間其内職を

働くと同様の工賃が得られる譯で、全家族で一日一圓の工賃を得れば月に三拾圓であり、一日八拾錢を得れば二拾四圓、五拾錢にしても拾五圓、四拾錢にしても拾二圓、二拾五錢にしても月に七圓五拾錢であります。然し夫婦に子洪の二三人もあり、其他弟妹があつたり老人があつたりして皆で根氣よく遣れば一日の總工賃が四拾錢や五拾錢と云ふことはありません、少くとも八九拾錢以上にはなります。但し若し其れでも月に拾五圓乃至二拾圓しか得られなかつたら不足額の拾五圓なり拾圓なりは衣食住に節約を加ふれば三拾圓位の資金を得ることは至極難事ではありますまい。

第四方法

第四の方法としては借金手段を執ることでありますが、併し其借金は五分以下の低利であるか、無利子で借り得るものでなくてはなりません。一割とか一割五分とかの

高利を拂つては差引何にもならない事になりますので、出来得べくんば無利子たるを要しますが、せち辛い今日無利子で十圓以上の金を貸して呉れるものは先づ絶対に無いと見て差支ありません。無利子で貸して呉れるものがないとすれば低利で借りる他はありませんが、それも五分以下たることは絶対条件であります。處が茲に一つ此方
法には困難な問題があります。夫れは縦ひ無利子にせよ低利にせよ、借りた金は返さなくてはならぬが、他に資金調達の方法を講せずして毎月二十圓なり三十圓なりの借金をして投資すれば、投資は出来るが借りた金は何うして拂ふかと云ふ事でありませぬ。此問題は如何なる方面から解決しようとしましても、借金すると同時に生活費を切り詰めるか内職によつて増収を圖るかでない限りは絶対に解決の途がないのであります。故に借金によつて資金を調達する場合は、急に資金調達の必要が起り、他に方途の無い時に限り行ふべきものであります。即ち例へば有利有望なる新設会社の株式募

集に應募するとか、有利有望な既設會社の新株募集に應ずるとか、個人の所有株で非常に安く買収し得るものがあつて其れを買入れる場合であるとかと云ふやうな時應急手段として行ふべきものでありまして、普通月々の投資に必要な資金は飽くまでも借金政策によらず、生活費の節減が積極的増収法によつて調達することを原則としなければ、到底有利な繼續的投資を行ふことは不可能であります。

一七 少くとも十年計畫

以上述べました方法によりて資金を調達し五人なり八人なり十人なりで投資團體を組織し株券の買入投資を行へば一代に數萬數十萬圓の資本家となり財産家となることは決して難事ではありません。由來人情の常として出来得れば一攫的に少くとも三年か五年位の短時日の中に巨萬の富を得たいと思ふ人が多いやうであります。名僧高

僧となるにも數年數十年の時日と努力が必要であり、一代の學者となり識者となり、宰相大臣となるにも今日思ひ立つて明日成れるものでもなければ一年や二年の努力によつてなれるものでもないやうに、富を積んで富豪となり資本家となり財産家となるにも然う手取早く置いた物を取るやうな譯には行くものでありません。即ち凡て何事にも順序方法と云ふものがありまして、資本家となり金力者となるにも其れ丈の順序を踏み方法手段によつて最善の努力をしなければなれるものでありません。中には株相場米相場で一舉に萬金を得るものがあり、三年五年どころか僅か一二箇月位で成金となり富豪となり資本家となるものがあるではないか、これは一體何うしたものだ

と云ふ人があるかも知れませんが、無論然う云ふ人も世の中には幾らもありませんが、其れ迄になるには慥かに相當の時日と努力とを犠牲とし幾多の若い經驗を嘗め幾多の失敗の歴史を有して居ないものはありません、即ち五年なり十年なり其れ以上なりの

長い間儲けやうとしては失敗し、攫まうとしては逃げられ、押へやうとしては外れ、若心研究努力奮闘を積んで居ないものはありません。嘘だと思つたら然う云ふ人に就いて經歷を聞いて御覽なさい、其人の答に今日思ひ立つて翌日其れを得たのだと云ふものは恐らく一人もありません。故に少収入者が零細な資金を投じて致富の途を講ずるにしましても、短兵急に巨萬の富を作らうと思つたら却つて失敗します、矢張り十年なり二十年なりの長期計畫の下に慎重に冷靜に投資しなければ決して一代に數萬數十萬圓の資産家となることは出来るものではないのであります。而も私が何故少収入者の投資法として、而も最も徑捷なる致富上の投資法として非投機的株券投資を勧めるかと云ふと、其れは前にも説明しました通り、最も有利有効であり最も安全確實であり、迷はず惑はず、此方法を繼續して行けば十年間には否でも應でも數萬數十萬の資産家とならざるを得ない投資法であるからであります。試みに諸君が同僚なり

友人知己なり親戚なりの五人が集つて投資團體を組織し、毎月二十圓なり三十圓なり或は四十圓なりの僅かな資金を出し合せ、之れを以て時價百圓の株券を毎月一株づゝ買入れ十年間繼續したら、其結果は何うなりますか、即ち一年間には十二枚即ち十二株を買入れることが出来、二株宛分けてもまだ二株残り、一人の收得する利益は額面五十圓であつて年三割の配當であつたら三十圓ではありませんか、而して實際に投じた資金二百圓に對する三十圓は一割五分ではありません。二年目には各人の持株が四株となり、之れに年末賞與金などの臨時收入を全部投資すれば、二年目に於ける各人の持株は五株乃至六株位になります。五株六株となれば其收得する利益は七十五圓乃至九十圓であり、三年目には一人十株利益百五十圓であり、四年目には一人十一株利益百六十五圓、五年目には一人十四株利益二百十圓、六年目には二人十七株利益二百五十五圓、七年目には一人十八株利益二百七十圓、八年目には一人十八株利益二百

八十五圓、八年目には一人二十二株利益三百三十圓、九年目には一人二十三株利益三百四十五圓、十年目には一人二十六株利益三百九十圓となります。但し以上の計算は十年間月給が昇らず賞與金等の臨時收入も同額と見ての計算であります、實際は毎月月給取なら月給も昇給され随つて年末賞與金等も多くなるものであります。故に、實際は右の計算の倍即ち五十株位にはなります、十年間に五十株として計算すれば配當によつて收得する利益丈けでも年三割と見て七百五十圓であり、十年間配當によつて得る利益を全部投資すれば五十株以上を買入れることが出来ますが故に合計百株以上になります。假りに百株としましても十年目に收得する一年間の利益は一千五百圓もあります。一年間に千五百圓の収入があれば遊んで居て 毎月百圓の生活をしてでもまだ百圓残ります。然し有利有望な會社であれば十年間に一回乃至二回位新株を募集するものでありますから、其れ應ずれば十年間には三百株乃至四百株位の株を持つこ

少くとも十年計畫

とが出来ます。前述の通り新株募集は申込み時は一株につき證據金として大抵二圓乃至五圓と云ふのが慣例となつて居りますので百株申込んでも二百圓乃至五百圓。而して拂込も一度に全額拂込みと云ふのはない、大抵額面金額の四分の一であるから五十圓の株であつたら一株十二圓五十錢、百圓であつたら二十五圓、故に第一回拂込みは百株で千二百五十圓乃至二千五百圓でありますが、申込證據金も此内に算入されるので實際第一回拂込日に拂込出金千〇五十圓乃至二千圓位のものであります。而して此新株が一ヶ月後に於て市價百圓乃至百五十圓となれば、僅か一ヶ月間に一株について八十七圓五十錢乃至百二十五圓即ち百株で八千七百五十圓乃至一萬二千五百圓の莫大なる利益を收得した勘定になります。此新株が同じく三割配當であれば、十年目に於ける一年間の總利益は(全部額面五十圓として)三百株で四千五百圓、四百株で七千圓であり、額面百圓株ならば三百株で九千圓、四百株で一萬二千圓であります。即ち此投

資法を十年間繼續すれば三百株乃至四百株を有する株主となり、時價百圓として三萬圓乃至四萬圓、百五十圓として四萬五千圓乃至六萬圓、利益四千五百圓乃至一萬二千圓であります。更に後十年間此利益のみを資金として投資すれば毎年額面五十圓時價百圓又は額面百圓時價百五十圓の株を四十五株乃至百二十株づゝ買入れることが出来、十年間には四百五十株乃至千二百株を所有することが出来ますが、其十年間に於て毎年收得する利益も全部買入資金として投下すれば、初年には四十五株であるが二年目には九十二株、三年目には百五十一株、四年目には二百十八株、五年目には二百九十六株、六年目には三百八十六株、七年目には四百八十八株、八年目には六百十七株、九年目には七百四十三株、十年目には八百九十九株を買入れることが出来ます。但し是れは前十年間に買入れたる株数を三百株とし之れより得る利益額面五十圓年三割即ち十五圓合計四千五圓を基礎として額面五十圓時價百圓のものを買入れ其新たに買入

少くとも十年計畫

れたる株も年三割配當として計算したるものでありますが、前十年間に買入れたる株を四百株とし其利益一萬二千圓を以て更に十年間同様の投資法を繼續し、其新たに買入れたるものより得る利益も全部投資するときは、初年に於ては前記の如く百二十株でありますが二年目には二百五十七株、三年目には四百二十二株、四年目には六百十五株、五年目には八百十六株、六年目には千〇五十八株、七年目には千三百二十七株、八年目には千六百五十八株、九年目には二千〇二十六株、十年目には二千四百五十株の所有者となることが出来ます。其處で前の所有株と合算すれば前十年によつて三百株を所有して居た場合は合計千九百九十九株となり、之れより得る二十年後即ち二十一年目に得る總収益は一萬七千九百八十五圓であり、前に四百株を所有して居た場合は合計二千八百五十株で其二十一年目に得る總収益は四萬二千七百五十圓であります。然し實際は其會社より他の有望なる新設會社の新株募集に應ずる機會が一回乃至十回

位はありますから、之れにも百株づゝ毎機會申込むとすれば十年間には百株乃至千株を所有することが出来、通計千二百九十九株乃至三千八百五十株を所有することが出来ます。而して其利益は一年間に一萬九千四百八十五圓乃至五萬七千七百五十圓であり、全財産は二十年の終りには十二萬九千九百圓乃至三十八萬五千圓となります。而も二十年後に於ける總収益五萬七千七百五十圓を以て有望なる新設會社の株式募集に應ずれば額面五十圓第一回拂込十二圓五十錢として四千六百二十株を申込むことが出来ます、而して其利益は六萬九千三百圓であり、其株の價格は時價百圓としても四十六萬二千圓であり、二十年間に買入れたものと合計すれば勿驚八十四萬七千圓、是れ丈の株を持つて凝として居れば三十年目には全財産は二百萬圓以上になります。猶二十年後に於ける一年間の總利益一萬九千四百八十五圓乃至五萬七千七百五十圓を以て額面五十圓の新株募集に應じ時價百圓に賣り其元利金を以て更に第二の新株に投

少くとも十年計畫

資すると云ふやうに買つては賣り買つては賣ると云ふ方法を取り、毎年二回づゝ行ふとすれば十年後に於ける財産は驚くべき巨額に達します。即ち五十七億四千三百四十一萬一千二百圓乃至百五十一億三千八百八十一萬六千圓でありまして、總計五十七億四千三百四十一萬一千二百圓乃至百五十一億三千九百九十九萬一千圓となります。而も此驚くべき巨富が巨萬の大資本を以て投機的米相場、株相場を遣つた結果にあらずして、實に百圓以下の月收者が毎月五人で三十圓出し合せて集合資本をし十年間團體投資を行つた結果であるに至つては、非投機的株券投資が如何に安全確實であり如何に莫大なる利益あるものであり如何に少収入者の投資法として團體投資が有利有効にして驚異すべき結果を得るものであるかに一驚を喫せざるを得ないでせう。私が少収入者諸君に短兵急たる勿れ少くとも十年計畫の下に着々實行せよと云ふのは即ち此處であります。

一八 多大の信用と莫大なる利益

諸君の中には縦令團體投資で一年間に十株や二十株を買ひ得たとして大した事ではないかと思はれるものがあるかも知れませんが、縦ひ十株にせよ二十株にせよ有利有望なる會社の株主であるとなると第一社會的信用が違ひます、假りに諸君が人に金を貸すとして月收は百圓であるが財産と云つては何にもないものを信用するか、月收は五六十圓でも有力な會社の株を十株より二十株なり持つて居るものを信用するか、恐らく何人と雖も月收が多くても財産の無い者を信用して月收は少くても財産の有るものを信用しないことはありますまい。諸君が然うであると同様社會も矢張り第一其點に信用不信用の標準を置きます。故に五株でも十株でも有力會社の株主となれば五百圓や千圓位の金は個人でも銀行でも其他の金融業者でも有利な條件で貸して

多大の信用と莫大なる利益

多大の信用と莫大なる利益

呉れますし、何か事業を遣るにも現金でなくて信用取引を爲て呉れるし萬事に好都合で、其れによつて得る利益は莫大なるものであります。而して茲に有望な新會社が出来て今其株を買つて置けば多大の利益がある。手許に資金がないと云ふ場合は、一時所有株券で調達する事も出来れば信用で借りることも出来ます。例へば額面百圓時價百五十圓の株十株を擔保として千圓を借り之れで新設會社の株式募集に應ずれば額面五十圓第一回四分の一拂込みのならば八十株を申込むことが出来ます、そして六箇月後に其株の市價が百圓となれば八十株で八千圓でありますから、之れを時價で賣つて千圓の借金を返したとしても僅か六ヶ月にして七千圓を儲けた勘定であり、千圓の利子が六ヶ月に二割と云ふ高利であつたとしても四百圓でありますから、之れを差引いても六千六百圓を儲けたことになります。併し實際は賣らなくても千圓の借金位は返せる方法がありますから、其利益と云ふものは莫大なるものであります。即ち初めは

多大の信用と莫大なる利益

一年間毎月投資しても二株とか三株とか十株に足らぬ僅かな株數であり、其利益も僅かなものであります。二年目三年目となれば、其の所有株を利用して資本を調達し右に述べたやうに有利に運用することが出来るのでありますから、五六年も繼續して巧みに投資すれば百株や二百株の所有者となることは譯も難くないことであり、五年目に百株を所有すれば額面百圓年三割配當にして配當丈けでも三千圓であります。百株有つて居れば遊んで居て月百二十圓の生活が出来ます。今日勤儉貯蓄とか天引貯金とか貨殖蓄財に關する方法が随分唱導され又實行されて居ります。安全確實であれば牛歩的でも構はぬと云ふ點から云つたら勤儉貯蓄も結構でせう、天引貯金も悪くないことは勿論であります。然しながら貨殖蓄財即ち致富の方法は安全確實であると同時に猶迅速なるを要します。此點から觀ると勤儉したり天引したりして日々零細な金を郵便貯金や銀行預金などにして二十年三十年後を待つ

多大の信用と莫大なる利益

のは愚策の頂邊であります。勤儉貯蓄でも天引貯金でも手段は構はないが要は其貯蓄金の運用如何であります。郵便貯金は安全ではあるが利子は年四分か四分五厘即ち一萬圓預けても年に四百圓か四百五十圓であり、銀行預金にしても定期で八分か八分五厘、九分の利子を拂ふ銀行は第一二流の銀行では先づ無いと云つてよい、随つて定期預金として一萬圓預けても年に八百圓か八百五十圓しか利子は附かない。況んや月々五圓十圓宛預入するに於てをやであります。然るに之れを團體組織で株券に投資をすれば少くとも一割以上二十割三十割に運用することが出来ます。有利投資物のなかつた昔ならば勤儉貯蓄や天引貯金によつて三十年五十年一日の如く牛歩的に將たなめくじ的にコツ／＼と積み上げて行くのが最善最良最有利な致富方法であつたかも知れぬが、有利にして安全確實なる投資物も多く投資法も多々ある文明開化の今日、丁番時代の古典的な方法を以て金科玉條とするなどは非文明的であり非現代的であり時代遅れであるのみでなく、致富策としては最も愚劣な遣り方でもあります。要するに勤儉貯蓄や天引貯金などは或程度の資金を作る爲めの無資本者の執るべき手段としてならば可いが、十年一日の如く何時までも其れを以て押通して行くのは勞多くして効少ない遣り方であります。

一九 株券撰擇の方法

扱て次に投資すべき株券撰擇の方法について述べて置きます。元來投資の成功と失敗とは資本の大小多寡に由るのでなくて、投資の方法と投資物件の撰擇如何に在るのであります。随つて株券投資に於ては先づ株券の撰擇が必要であり肝腎要であります。株券投資と云ふから株券でさへあれば何んな株券でも構はぬと云ふものではありませぬ。土地家屋放資に於て土地家屋の撰擇が肝腎要であるが如く、株券投資に於ても矢張

株券撰擇の方法

り株券の選擇が肝要であります。即ち如何なる株に投資すれば安全確實であり有利有益であるかと云ふ問題から解決してからなければならぬのであります。

事業状態に注意せよ

其處で其選擇は何う云ふ方法によつてするかと申しますと、第一に會社の經營して居る事業の状態について研究者を考察することでありませぬ。即ち此會社の事業は現在に於て有利有望であるか、將來も果して有利有望であるか、益々發展する性質のものであるか何うか、現在他に有力な競争會社があるか何うか、將來に於ては何うであるか少くとも近き將來に於て然う云ふ傾向形跡はないか、世界各國に於ける此種の事業に關する状態は何うであるか、漸次行詰りとなり衰微不振に陥る傾向がありはせぬか、歐米諸國では左程有利な事業と見られて居なくても我邦ではまだ草分的事業であるか、

何うか、戰爭などの如き一時的事件の餘波を受けて有利有望と誤解されて起つた泡沫的のものではないか、政府や一般社會は何う云ふ態度であるか、政府は補助金を下附しても益々發展せしめやうと云ふ方針であるか何うか、一般社會も矢張り其事業の將來に矚目し期待して居るか何うか。獨占的の事業であるか否か、競争會社の起るに都合のよい事業であるか何うか。先づ斯う云ふ事に就て冷静に慎重に研究し公平なる判斷を下さなければなりません。一寸見た所では非常に有望な事業のやうに思はれましても將來發展の見込みのないものであつたら投資する價値はありませぬ。又他に有力なる競争會社があれば有利な事業でも收益が少くなるのは必然の結果でありますし、他會社との競争に勝利を得ることが出来ないのみならず却つて敗北するやうなことになるれば、折角投資しても投資の目的たる利益の收得が出来ないことになるのであります。が故に、然う云ふ會社に投資するのは危険であります。但し縦し他に競争會社が現在

在るにしても其れに充分對抗し得る實行があつて其事業界の三分の二以上の勢力を有して居るものならば此限りではありませぬ。又政府や一般社會が冷淡に取扱つて居るやうな事業は多く有望でない事業が多いのでありますから之れも亦投資するには不適當であります。又戦争などに煽られて出來た一時的泡沫會社などは戦後にせよ戦時中にせよ戦争熱の冷却するに従つて自滅するものでありますから、然う云ふものには投資しないのが安全であります。それから世界各國で冷淡に取扱はれて居るもので我邦でも草分的のものでないと云ふものであつたり、競争會社の起るのに好都合の事業であつたり、一般的需用のない即ち需用範圍の狭いものなどであつたりするものも投資して多大の利益を收得することは先づ以て不可能のものであります。故に、投資すべきでないことは勿論であります。

經營狀態に注意せよ

次は其會社の經營狀態の如何であります。即ち經營の方法が舊式の經營法であるが新式の經營法であるか今日の時代に適應しない丁髷式經營をして居るか將た時代に順應した新しい有効な經營法を採用して居るかであります。如何に會社の事業其物は有利有望なる事業でありましたも經營が拙劣であつたら何にもなりません、随つて大なる利益を擧げることが出來ないのでありますから、縦合投資して見た所で多大の利益を期待することは出來ないのであります。今日有望な事業でありながら經營の方法が拙い爲めに利益を擧げることが出來ず發展も出來ず愚圖々々して居つて株券の價值を低落せしめて居る會社は少くありません。されば投資せんとする場合は事業狀態を見ると共に此點にも充分徹透したる研究考察を爲す必要があります。

重役の人物に注意せよ

それから第三に重役の人物如何と云ふことであります。即ち此會社の重役は何う云ふ人物であるか、果して地位もあり社會的信用もあり力量手腕等に於ても信頼するに足る人物であるか何うか、曾て會社の重役として信頼すべからざる行爲をした人物ではないか、然う云ふ非難を受けた事はないか、斯う云ふ事に注意するのは株券投資上絶対必要の條件であります。世には重役の悪い爲めに會社の事業が不振に陥つたり、經營困難に陥つたり、株主の知らぬ間に莫大なる負債が出来て居つたり、望みのない物件に放資をして資金の回收が絶望的となつたり、會社の金を胡魔化して費消したり、株主を欺いて私腹を肥したり、會社に對する社會の信用を失墜せしめたり、會社が潰れて仕舞つたりする事實は少くないのであります。何々會社が解散した、何會社が潰

れた、何會社は信用が出来なくなつた、何會社が經營困難に陥つたと云ふことは我々の平生見聞して居る所でありませんが、其裏面の事情を探つて見ると、單に事業其物に缺點があると云ふよりも寧ろ重役の人物に缺點があることが重大なる原因となつて居る場合が尠くありません。殊に専務取締役の如きは事實上會社經營の當事者と云ふべき役目に在るものであります。故に、専務取締役に何う云ふ人物が居るかと云ふことは特に注意すべきものであります。

財産状態に注意せよ

それから會社の財産状態に注意することでありませう。即ち資産は何程あつて負債は何程あるか、其資産は何う云ふ性質の資産であり、其負債は何う云ふ性質の負債であるかを調べるのであります。而して之れは各會社が毎年一回又は前半期(上半期)後半

期(下半年期)の二回に發表する決算報告書即ち貸借対照表によつて見るのであります。が、是によつて見れば貸借關係即ち資産と負債との財産状態が直ちに判明します。貸借対照表は資産、負債、損益勘定に分けてありますから資産を知らんとすれば資産の部の各項について見れば分り、負債状態は負債の部の各項に就いて見れば分り、損益の計算が何う云ふ風にされて居るかは損益勘定の部について見ればよいのであります。モ少し具體的に言へば、保險會社の決算報告であれば、資産の部としては未拂込株金、現金、預金、貸付金、有價證券、不動産(土地建物等)及什器、未收利息、未收保險料、代理店勘定、假拂及假勘定、支店建築費勘定等に分けて夫れ々金額が明示してあります。負債の部としては資本金又は株金(拂込んだもの)、法定準備金、責任準備金、保險契約利益、配當準備金、支拂備金、使用人養老積立金、社員身元保證金、一時預り金、利益等の各項に分けて矢張り夫れ々金額が明示してあります。又

銀行の決算報告ならば資産としては拂込未済資本金(株金)、諸貸出金、諸預け金、債券價格較差、諸有價證券、他店貸、諸支拂基金(支拂備金)、不動産(土地家屋等)及什器、假拂金、買爲替、地金銀、金銀在高(外國貨幣を含む)、割引手形、荷爲替手形、利付爲替手形、別途貸代金、定期貸、通知貸、當座貸越等の名目によつて金額が示してあり、負債としては資本金、諸積立金、債券發行高、仕拂手形發行高、諸預り金、信託金、他店借、假受金、配當金、前期繰越金、賣爲替、支拂爲替手形、當期純益金(利益金)等の名目によつて各金額が明かにしてあります。又麥酒會社などの決算報告ならば資産は未拂込資本金、興業費勘定、興業費未決算勘定、材料品勘定、半製品及製品勘定、營業貸勘定、假拂金勘定、受取手形勘定、諸有價證券、銀行勘定、(預け金等)現金在高等の各項に分けて明示してあり、負債としては資本金(發行株券額面全額或は未拂込高)、法定準備金、別途積立金、使用人退職手當基金、諸預り金、未拂金勘

株券選擇の方法

定、假受金勘定、營業借勘定、仕拂手形勘定、未拂配當金、前期繰越金、當期利益金の各項に分けて明示し、損益計算即ち利益金分配方については法定準備金、別途積立金、役員賞與金、株主配當金、株主再配當金、株主臨時配當金、使用人退職手當基金、後期繰越金等の名目の下に各其金額が明示されて居ります。斯う云ふ風に會社の資産や負債や當期々々の損益計算が何う云ふ風になつて居るかは、決算報告を見れば判然するのであります。會社事業の種類によりまして資産あり負債なりとして示されて居る内譯の項目の多少名目の相違あることは勿論であります。凡て資産と負債とを對照して見て、資産の種類性質負債の種類性質を吟味檢査し、資産に對する負債が多少少ないか、資本と利益との比例は何うであるか等を知ることが必要であります。例へば甲乙二つの會社があつて兩會社共に資本金一千萬圓で當期の純益が一百萬圓と云ふ勘定によつて居りましても拂込金額に對照して見なければ果して何れが利益が多

株券選擇の方法

いか何れが有利有望であるかは分りません。甲の會社の株金拂込金額が資本總額の四分の一であつて乙の會社が四分の二であれば、甲の會社は實際に於ては一千萬圓の四分の一即ち二百五十萬圓を運轉して半期間に一百萬圓の利益を挙げたものであり、乙の會社は五百萬圓を運用して一百萬圓の利益を收めたことになるのでありますから、局り甲の會社は乙の會社の一倍の利益を得て居ることが分ります。随つて乙の會社より甲の會社の方が有利有望であり、投資をするなら乙の會社よりも甲の會社の方が有利有望であることが分るのであります。左に二三會社の決算報告を備用轉載して置きますから、之れに就て研究して御覽なさい決算報告の見方が充分に領解されませう。

株券選擇の方法

第四十三回決算報告

(自大正七年一月一日
至同年六月卅日)

貸借對照表

負債之部

資本金	五,000,000.000
法定準備金	一四七,000.000
別途積立金	六〇六,000.000
諸償却費積立金	二七二,000.000
未拂配當金	五九七,三五〇
未拂手形	一,四八〇,九八三.〇〇
仕拂手形	九三〇,八一七〇.四〇〇

資産之部

割引手形	一,四六〇,〇〇〇.〇〇〇
預り保證金	六七〇,五〇〇
假受人身元保證金	五六二,六二九.八七四
預り金	三六,〇〇二.六四〇
借入公債(保證金代用)	四〇,〇〇〇.〇〇〇
共濟會預り金	二,二五三.二七〇
職工共濟會基金	二,二四〇.三二〇
職工養老金	五五,九九〇.〇一〇
前期繰越金	三七〇,九九六.三五二
当期純收入金	一,八三二,六五〇.六三四
合計	二五,九一〇,八八四.五六〇
未拂込資本金	一,四七〇,〇〇〇.〇〇〇
地所	五九九,八五五.三三三

株券選擇の方法

建築物及營造物	五九四,九五六.六五六
船渠一式	五二,三八九〇.五五
船臺	一八七,五四〇.五二三
船舶	一〇七,八八九六.二四
浮標	一六,〇八〇.〇〇〇
機械	一,五五〇,五六三.三四一
器具	三二〇,三六二.四八九
備用品	四四,七七八.七四〇
有價證券	六二,四六八.二五〇
貯藏品	四,三三〇,三七二.六〇六
半製工事費	四,六七四,六七六.七九六
未收金	五二四,六〇三.九三〇
受取手形	一,六六七,二五〇.〇〇〇
假拂金	八,七五九,二四二.四四
差入公債	四〇,〇〇〇.〇〇〇

利益金處分

銀行當座預け金	三八五,六六六.一五〇
現金	二四二,一九五〇
合計	二五,九一〇,八八四.五六〇
当期總收入金	三,二七三,三三二.五
当期總支出金	一〇,三五四,五八二.二九一
差引純益金	一,八三二,六五〇.六三四
前期繰越金	三七〇,九九六.三五二
合計	二,二〇三,六四六.九八六

利益配當計算

法定準備金	一〇〇,〇〇〇.〇〇〇
償却費積立金	二〇〇,〇〇〇.〇〇〇

株券選擇の方法

別途積立金	三九四、〇〇〇・〇〇〇
役員賞與金	一六〇、〇〇〇・〇〇〇
株主配當金(年二割)	二九六、九七二・〇〇〇
株主臨時配當金(年二割弱)	二九六、九七二・〇〇〇
後期繰越金	七四五、七三二・九六六

大正七年八月

東京市麴町區永樂町一丁目一番地

浦賀船渠株式會社

取締役社長	町田豊千代
取締役	山下龜三郎
取締役	松本幹一郎
取締役男爵	赤松範一
右調査を遂げ候處相違無之候也	
監査役	林 武平

第五十八回 大正七年 前半年 公告

貸借對照表

資産之部

船	六〇〇、三六八・三
地所建物船架棧橋	一〇六、二五八・八五
備附品及貯蓄品	四七、四六〇・二八八
有價證券	一〇六、五四八・五〇
造船勘定貸付金假出金	一八一、九〇三・七四
拂込未済株金	六〇〇、〇〇〇・〇〇
未收勘定	三二、六〇三・八六二
銀行勘定及手許有高	一〇、五八八・五八三
合計	二、七二二、五八三・二五四

負債之部

株	二、〇〇〇、〇〇〇・〇〇〇
諸積立金	二九一、〇七四・二〇九
預り勘定	五九、五〇三・二四四
未拂勘定	六二、四六四・〇
配當未済勘定	五、四七六・五
假入金	五九、六〇九・〇一八
前期繰越金	三、四一四・五五六
当期利益金	二、六五、三九七・一八二
合計	二、七三三、七六三・二五四

損益勘定

当期總收入	一、三三三、〇〇七・三六四
当期總支出	九四七、六二〇・二八二

株券選擇の方法

差引利益金

前期繰越金	二、六五、三九七・一八二
合計	三、四一四・五五六
準備積立金	二九、五四二・七四八
船舶保險積立金	一四、〇〇〇・〇〇〇
株主配當金(年一割二分)	一〇、〇〇〇・〇〇〇
株主特別配當金(年一割)	五、四〇〇・〇〇〇
役員賞與金	四、〇〇〇・〇〇〇
退職給與基金	一、三二〇・〇〇〇
特別積立金	一〇、〇〇〇・〇〇〇
後期繰越金	一〇〇、〇〇〇・〇〇〇
右之通候也	四三、三四二・七四八

大正七年七月二十七日

東東灣汽船株式會社

專務取締役 櫻井 龜二

株券選擇の方法

常務取締役 渡邊 六藏
 取締役 渡邊 治右衛門
 取締役 池田 庄吉
 前記各項調査を遂げ其正確なるを保證候也

監査役 伊藤 幹一
 監査役 石川 甚作

第三十七期決算公告(大正七年上半期)

貸借対照表

資産之部

拂込未済資本金 三,七五〇,〇〇〇.〇〇〇
 諸貸出金 四,三〇八,一七六.八三〇

内年賦貸付 二,七二一,〇三七.八八〇
 定期貸付 四,三九九,三八三.二二〇
 譯割引手形 一,四一三,一四一.五二六〇
 其 他 二,七六五,三三二.一九七〇
 諸預け金 三,九九二,五三四.二七六
 有價證券 四,六〇七,六三三.二五〇
 債券價格較差 八,七〇〇.〇〇〇
 代理店諸支拂基金 八七,八〇三.九一〇
 他店へ貸 八七三,〇五六.四三〇
 所有物勘定 八二五,一六一.四六〇
 假拂金 一〇,六九〇.五二〇
 新築費 一,五四,一九七.二〇
 金銀勘定 一,三六八,八四七.七六
 合計 五,九三九,七九五.〇〇二

合計

五,九三九,七九五.〇〇二

損益計算之部

當期總益金 三,二九一,三九一.八四〇
 當期總損金 二,九〇四,五九八.五〇〇
 差引當期純益金 三八六,七九三.三四〇
 前期繰越金 一〇〇,四五五.五四二
 合計 四八七,二四八.八八二

此配當計算左の如し

損失補填準備金 三九,〇〇〇.〇〇〇
 配當平均準備金 一〇,〇〇〇.〇〇〇
 株主配當金 二八,二五〇.〇〇〇
 但年五分の割(舊株式一株ニ付金二圓二拾五錢新株式一株ニ付金五拾六錢貳厘五毛)

株券選擇の方法

資本殖 一〇,〇〇〇,〇〇〇.〇〇〇
 諸積立金 三,一七三,九〇〇.〇〇〇
 配當金 一,一九七,一九五〇
 債券發行高 二,二〇六,三九四.〇〇〇
 諸預り金 二,三三五,八三〇.六六〇
 代理貸付保證 一〇六,〇五四.六五〇
 仕拂爲替 八四,〇一九.七九〇
 他店より借 一,二四一,八〇一.四七〇
 日本勸業銀行勘定 六八,三三六〇
 日本興業銀行勘定 五,九八六〇
 假受金 一,〇〇〇,八六九.三八〇
 前期繰越金 一〇〇,四五五.五四三
 當期利益金 三八六,七九三.三四〇

株券選擇の方法

特別積立金 三〇,〇〇〇,〇〇〇
 重役賞與金 二五,〇〇〇,〇〇〇
 後期繰越金 一〇,一九六八八二
 右之通候也

大正七年八月

株式會社北海道拓殖銀行

專務取締役頭取 水野理庸
 取 締 役 馬島渡
 取 締 役 關宗喜
 取 締 役 乙竹仲太
 前記ノ各項調査ヲ遂ゲ其正確ナルヲ保證候也
 監査役 男爵 大倉喜八郎
 監査役 松本恒之助
 監査役 永田巖

第六期決算公告

(自大正六年七月一日 至大正七年六月卅日)

貸借對照表

大正七年六月卅日現在

貸方 (負債ノ部)

株 金 一七,〇〇〇,〇〇〇,〇〇〇
 法定積立金 一三,一八〇,〇〇〇
 固定資本償却積立金 二六,〇〇〇,〇〇〇
 職員職工恩給扶助基金 三六,三〇〇,〇〇〇
 職員職工身元保證金 四九,四六四七〇
 支拂手形 三,一九〇,九九五,九三〇
 預り金 五七,六九〇,九元
 支拂未済配當金 五二,一八〇

株券選擇の方法

保證預り金 四四九,〇〇〇
 大藏省年賦金 一四,一〇〇,〇〇〇
 買掛金 二二,二五八,九五五
 借入金 一五,一三五,〇四〇
 借入有價證券 三五〇,〇〇〇,〇〇〇
 未納税金 七五,〇三三,七五五
 未拂金 五九,六一八,〇二四
 假收入金 二,一五四,二五六,四四四
 前期繰越金 四〇,四六三,二六〇
 当期利益金 一,〇九八,四二五,四〇〇
 合計 二五,五五二,七五五,〇二七

借方

(資産ノ部)

未拂込株金 八〇一五,〇〇〇,〇〇〇
 土地 一三,六八〇,八四〇,九〇

建物及工作物 一六〇,〇三四,八〇一
 鐵道及船舶 一五〇,一二九,三八八〇
 器具家畜及什器 一三三,〇八八,五〇七
 製糖事業繼承費 一三五,六四七,七六
 契約保證金 三八,七九二,〇〇〇
 有價證券 三五七,一八四,五〇〇
 銀行預ケ金 六〇三,三四一,一〇〇
 受取手形 九〇,五二七,二七〇
 賣掛金 四七八,八六一,三三〇
 甘蔗前貸金及土地貸金 三三二,八四一,八八四
 肥料立替金 三三二,一九〇,五五七
 製腦前貸金 四八,二八五,一六〇
 納稅擔保有價證券 五〇,〇〇〇,〇〇〇
 製品 一,三八三,八三〇,八八一
 貯藏物品 八四三,八四〇,〇六二

株券選擇の方法

假支出金	三六、七九五六
未收入金	九、二四八〇二
母苗團及蔗苗勘定	二六、二六〇・七
開墾土地及殖林勘定	二七、七五〇・三五
次期農事勘定	一六、〇一五四六
工場建設及増設勘定	二、三三、二六・〇七
銀勘定	一〇、八六一四三
合計	五、五五、二七五・〇七

利益金處分

一金壹百九萬八千四百貳拾五圓四拾錢	當期利益金
一金四萬四百六拾參圓貳拾六錢	前期繰越金
合計	金壹百拾參萬八千八百八拾八圓六拾六錢

内

金五萬五千圓	法定積立金
金拾萬圓	固定資本償却積立金
金貳萬圓	職員職工恩給扶助基金
金八拾壹萬六千參百圓(年一割)	株主配當金
金八萬五千圓	役員賞與金
金六萬貳千六百八拾八圓六拾六錢	後期繰越金
臺南製糖株式會社	
取締役社長 鈴木梅四郎	
常務取締役 川上熊吉	
常務取締役 麻生誠之	
取締役 河井芳太郎	
取締役 原邦造	

株券選擇の方法

取締役 岩崎清七	
取締役 波江野吉太郎	
取締役 鈴木伊十	
取締役 大坪嘉太郎	
取締役 中村邦次郎	
取締役 陳鴻明	
取締役 吳汝祥	
前記各項調査候處相違無之候也	
監査役 安部幸之助	
監査役 高津久右衛門	
監査役 里見四郎	
監査役 岩崎定三郎	
監査役 吳純仁	

第十六回決算報告

(自大正六年七月一日 至大正七年六月卅日)

一 保險契約高	七千參百七拾貳萬八千四百餘圓
一 諸積立金	壹千參百拾八萬六千八百五拾圓
内 保險契約利益	
配當準備金	壹百四拾五萬參千參百參拾四圓
利益金處分	
當期利益金	五拾八萬參千七百拾壹圓貳拾六錢
内	
金參萬圓	法定準備金

株券選擇の方法

金貳拾五萬九千貳百六拾貳圓拾五錢	保險契約利益配當準備金
金貳拾萬圓	別段積立金
金壹萬五千參百圓(年八朱)	株主配當金
金四萬圓	役員賞與金
金壹萬圓	使用人養老積立金
差引 金貳萬九千百四拾九圓拾壹錢	次年度繰越金
未拂込株金	九〇〇〇〇〇〇〇
現金	三六七〇三

貸借對照表

資産ノ部

負債ノ部

預金	一六〇、四五四八五
貸付金	四七、七六七九六六六
有價證券	六〇、七〇六一八二五
不動産及什器	六、七、一七六八四三
未收利息	四八、二一八七〇
未收保險料	二、四三〇三三九七
代理店勘定	五、四〇六八五四四
假拂及假勘定	二、三、九三三七一
支店建築費勘定	四、二、五五七七〇
合計	一三六、七、五〇〇、二〇四
株金	三〇〇、〇〇〇、〇〇〇
法定準備金	一〇〇、〇〇〇、〇〇〇
責任準備金	二、二、四一、八四八、八三三

保險契約利益配當準備金	一、一九四、〇七二、二四〇
支拂準備金	一一、二六六、七四八、四
使用人養老積立金	四〇、〇〇〇、〇〇〇
社員身元保證金	四三、九三三、四八三
一時預金	一一、二六九、四七四
利益	五八三、七一一、二六〇
合計	一三六、七、五〇〇、二〇四

大同生命保險株式會社

大阪市西區江戸堀上通一丁目九番地

取締役社長	廣岡 惠三
常務取締役	祇園清次郎
取締役	西田 由
取締役	星野 行則
取締役	松井 萬祿
監査役	廣岡 久右衛門
監査役	岩田 幸七

それから又其會社の収益状態について充分に注意研究することが必要であります。如何に獨占的有利な事業でありましても、如何に將來益々發展する見込みある事業であります。夜目も

株券選擇の方法